

Graduate School of DAITO BUNKA UNIVERSITY

2027 大東文化大学
大学院案内



目次

沿革	1
学長挨拶	2

大学院概要

大学院概要	3
アクセス	4
キャンパス紹介	5

研究科紹介INDEX	9
研究科委員長メッセージ	11

文学研究科

日本文学専攻	13
中国学専攻	15
英文学専攻	17
書道学専攻	19
教育学専攻	21

経済学研究科

経済学専攻	23
-------	----

法学研究科

法律学専攻	25
政治学専攻	27

外国語学研究科

中国言語文化学専攻	29
英語学専攻	31
日本言語文化学専攻	33

アジア地域研究科

アジア地域研究専攻	35
-----------	----

経営学研究科

経営学専攻	37
-------	----

スポーツ・健康科学研究科

スポーツ・健康科学専攻	39
-------------	----

各専攻カリキュラム一覧	41
キャリア支援	45
学生サポート情報・学費一覧	47

入学試験情報

入学試験情報・入学試験データ	49
Q&A	51

※パンフレットに記載の内容は2026年5月時点のものです。
※取材学生の学年は取材時点のものです。

大学院アドミッション・ポリシー

1. 専攻分野を学ぶために必要とされるであろう幅広い知識と、未開拓の領域や新しい状況に的確に対応していく基礎となる力（基礎的なリテラシーやジェネリックスキル）を習得している。
2. 今までに習得した知識や技能を活用して批判的に考察・検討しようとするに加えて、グローバルな視野で物事を考える力（空間的な広がり）・歴史的な視点で物事を考える力（時間的な広がり）・多角的な視点で物事を考える力（文化的な広がり）、それらを的確に表現する力を備えている。
3. 国際社会や地域社会を担おうとする研究者・専門的指導者・専門的職業人として、品性や品格、豊かな情操と道徳心、健やかな心身を養おうとするだけでなく、多文化共生を実現しようとする意欲と真摯な姿勢を有している。

教育研究上の目的

大東文化大学大学院は、高度にして専門的な学術の理論および応用を研究・教授し、その深奥を究めて、文化の創造・発展と人類の福祉に寄与することを目的としています。

博士課程前期課程・修士課程は、広い視野にたって精深な学識を修め、専門分野における研究能力、または高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的としています。

博士課程後期課程は、専門分野について研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うものとします。

沿革

1921年（大正10年） 1923年（大正12年）	第44回帝国議会にて「漢学振興ニ関スル建議案」が可決。 第46回帝国議会の決議に基づき、国費をもって、本学の前身「大東文化学院」が東京九段の地に設立。
1924年（大正13年） 1941年（昭和16年） 1953年（昭和28年） 1961年（昭和36年） 1964年（昭和39年） 1967年（昭和42年） 1972年（昭和47年）	本科 高等科（6年制専門学校）の授業が開始。 東京・池袋に新学舎を竣工し全学移転。 名称を「大東文化大学」と改名。 東京都板橋区高島平に新校舎を建設、全学移転。 文学研究科（日本文学専攻・中国学専攻）修士課程を開設。 文学研究科（中国学専攻）博士課程後期課程を開設。 経済学研究科（経済学専攻）修士課程、文学研究科（日本文学専攻）博士課程後期課程を開設。
1977年（昭和52年） 1978年（昭和53年）	法学研究科（法律学専攻）修士課程を開設。 文学研究科（英文学専攻）修士課程、経済学研究科（経済学専攻）博士課程後期課程を開設。
1991年（平成3年） 1993年（平成5年） 1994年（平成6年） 1995年（平成7年） 1996年（平成8年） 1999年（平成11年）	法学研究科（法律学専攻）博士課程後期課程を開設。 経済学研究科（経営学専攻）修士課程を開設。 法学研究科（政治学専攻）修士課程を開設。 経済学研究科（経営学専攻）博士課程後期課程を開設。 法学研究科（政治学専攻）博士課程後期課程を開設。 外国語学研究科（中国語学専攻・英語学専攻・日本語学専攻）修士課程、アジア地域研究科（アジア地域研究専攻）修士課程を開設。
2001年（平成13年） 2003年（平成15年）	アジア地域研究科（アジア地域研究専攻）博士課程後期課程を開設。 文学研究科（書道学専攻）修士課程、経営学研究科（経営学専攻）博士課程前期課程・後期課程を開設。 法務研究科法科大学院を設置。
2004年（平成16年） 2005年（平成17年）	文学研究科（書道学専攻）博士課程後期課程、外国語学研究科（英語学専攻）博士課程後期課程を開設。 外国語学研究科（日本語文化学専攻）博士課程後期課程を開設。 （従来の日本語学専攻修士課程は博士課程後期課程の開設に伴い、日本語文化学専攻博士課程前期課程と改称）
2008年（平成20年） 2009年（平成21年） 2011年（平成23年）	文学研究科（教育学専攻）修士課程を開設。 スポーツ・健康科学研究科（スポーツ・健康科学専攻）修士課程を開設。 外国語学研究科（中国言語文化学専攻）博士課程後期課程を開設。 （従来の中国語学専攻修士課程は博士課程後期課程の開設に伴い、中国言語文化学専攻博士課程前期課程と改称）



大学生活も最終章に入ってくると、「学び」への興味が深くなっていくのではないのでしょうか。「もう少し研究したい」「この事象ってどう変化していくのだろう」など、「学び」への欲求・姿勢の変化は、大学教育を完遂したからこそ証です。

また、大学を卒業して社会に出たけれども「もっと学んでおけば良かった」「もう少し専門的な知識が必要だね」「グローバル化に対応したい」などと感じることもあるでしょう。

皆さんが、このように感じているのならば、学びを更に深化させることで、新しい文化に出会うことができるのです。そして、そのチャンスを掴む場こそが大学院です。

大学院での学びの目的には、「基礎研究を中心として学術研究を推進するとともに、研究者の養成及び高度の専門的能力を有する人材の養成という役割を担う」ということが示されていますが、「学問をもっと楽しみたい」、「社会に貢献できる、グローバルな人材になりたい」などという純粋な思いこそが大切だと実感しています。

大東文化大学大学院は、そんな皆さんの思いを実現すべく、7つの研究科、14の専攻を用意しています。本大学院に入学すれば、新しい文化の創造の担い手として、必ず大きく飛躍することをお約束します。

大東文化大学 学長 高橋 進

「学び」を深め、新しい文化の担い手になりませんか。

学位取得のプロセス

年次	学期	月	博士課程前期課程（修士課程）	博士課程後期課程
1年次	前学期	4月	入学式	入学式
			対面式	対面式
			新生ガイダンス	新生ガイダンス
			履修登録	履修登録
	後学期	7月	前学期授業開始	前学期授業開始
		9月	前学期授業終了	前学期授業終了
2年次	前学期	4月	後学期授業開始	後学期授業開始
			後学期授業終了	後学期授業終了
			学位論文提出	
			学位論文審査・最終試験	
	後学期	1月	学位授与	
		3月		
3年次	前学期	4月		履修登録
				前学期授業開始
				前学期授業終了
				後学期授業開始
	後学期	10月	学位論文提出	
		1月	後学期授業終了	
4年次	後学期	2月	学位論文審査・最終試験	
		3月	博士學位授与祝賀会	
			学位授与	

博士課程前期課程（修士課程）修了要件

- 博士課程前期課程（修士課程）に2年以上在学。
- 各研究科の定める所定の授業科目について30～32単位以上を取得。
- 必要な研究指導を受ける。
- 修士論文及び最終試験に合格。

※書道学専攻の場合は、上記に加え修了作品の提出も要する。

※公共政策学専攻コースの院生は学位論文に代えて調査研究報告書（リサーチペーパー）による提出も認める。

※現職教員1年修了コースの院生は1年での修了が可。

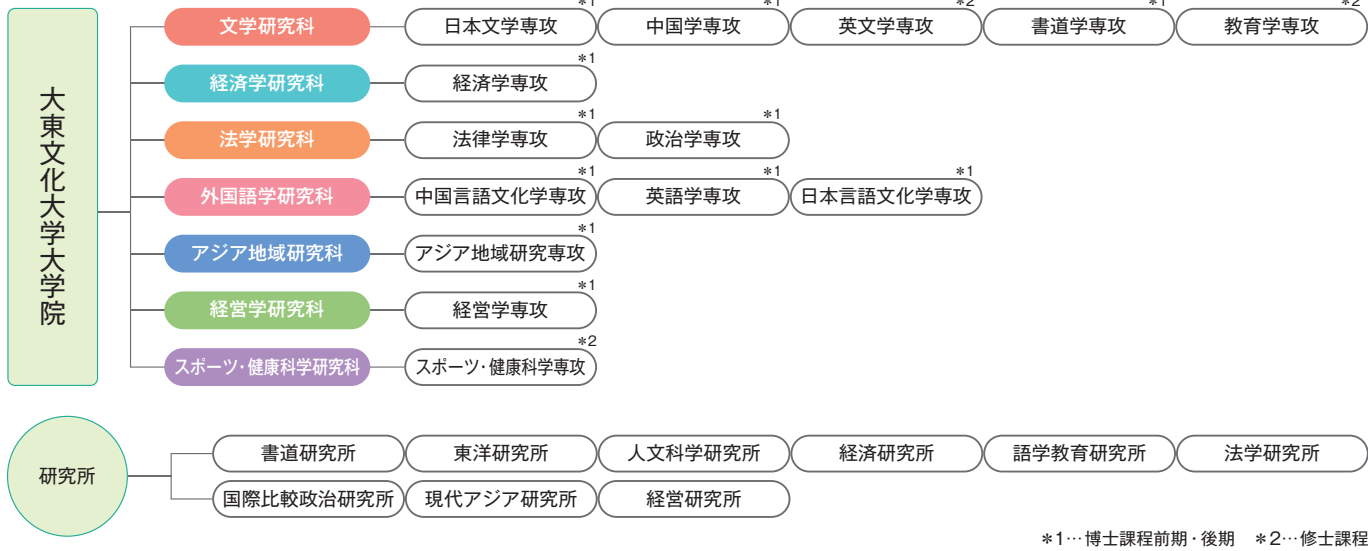
※短縮修了コースの院生は法学部法律学科4年次に科目等履修生として大学院科目を先取り履修することで、最短1年での修了が可。

博士課程後期課程 修了要件

- 博士課程後期課程に3年以上在学。
- 各研究科の定める所定の授業科目について8～16単位以上を取得。
- 必要な研究指導を受ける。
- 博士論文及び最終試験に合格。

※表中は全研究科共通の項目のみを抜粋しています。

大学院組織図



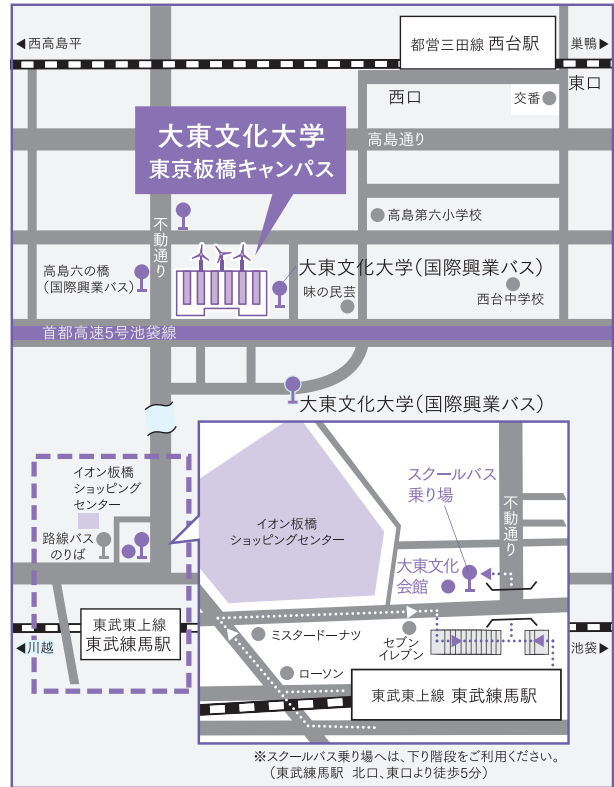
授業時間

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
9:10～10:40	10:55～12:25	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15	18:30～20:00	20:10～21:40

Access

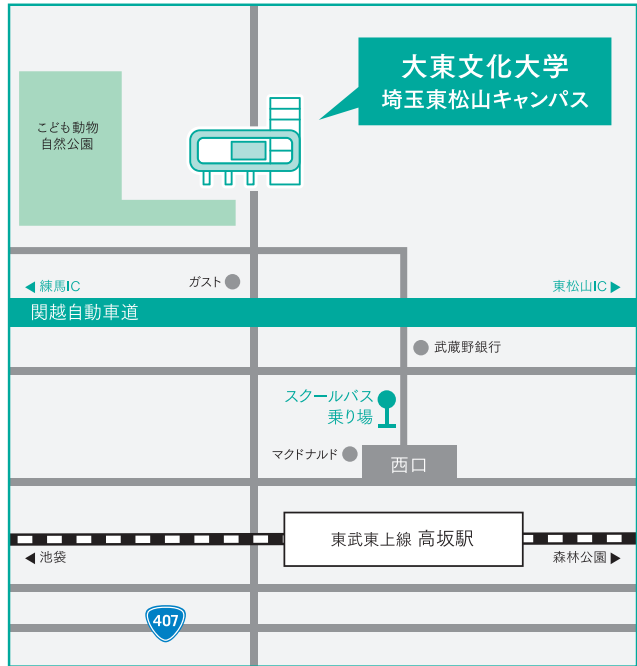
キャンパス周辺MAP

東京板橋キャンパス



東京都板橋区高島平1-9-1
東武東上線東武練馬駅北口・東口下車無料スクールバスで約7分
都営三田線西台駅西口下車 徒歩9分
設置研究科：文学研究科、経済学研究科、法学研究科、外国語学研究科、経営学研究科

埼玉東松山キャンパス



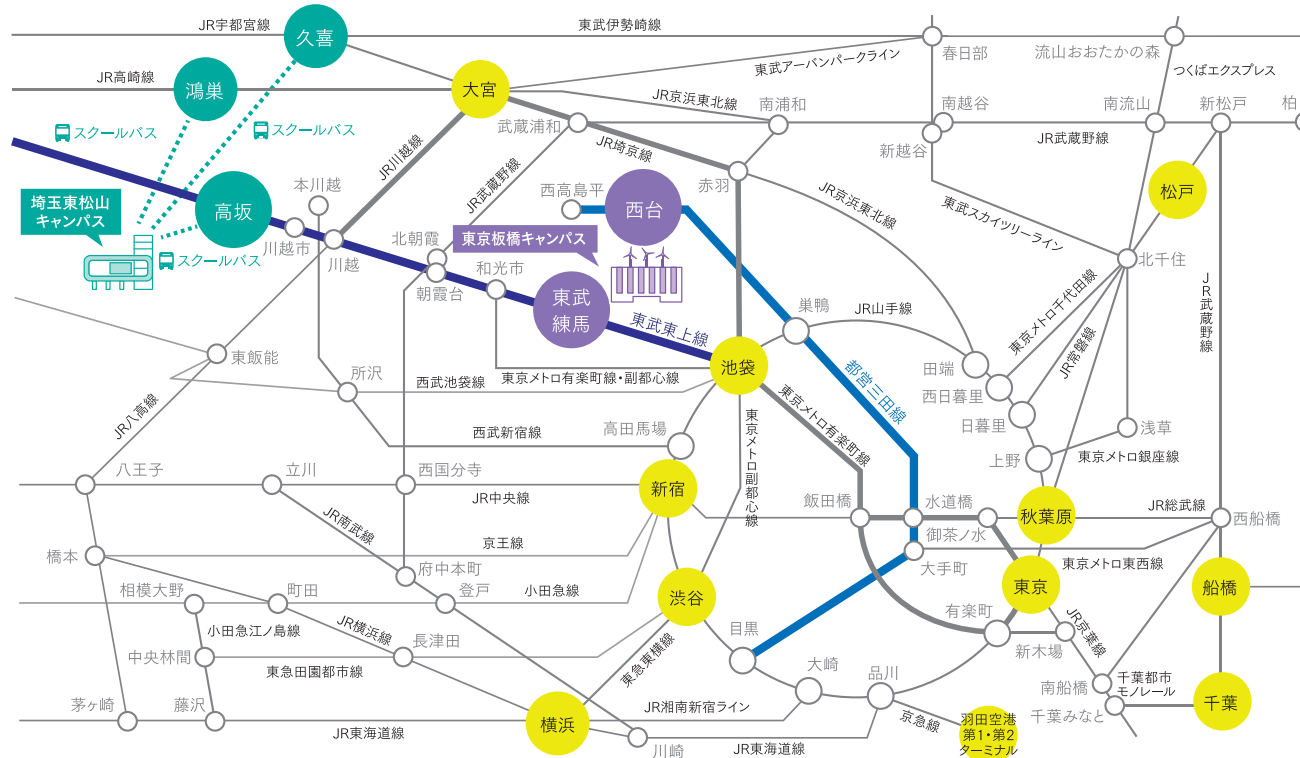
鴻巣 スクールバス JR高崎線鴻巣駅より40分（片道¥100 往復¥200）
久喜 スクールバス JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅より60分（片道¥200 往復¥400）

埼玉県東松山市岩殿560
東武東上線高坂駅西口下車無料スクールバスで約7分
設置研究科：アジア地域研究科、スポーツ・健康科学研究科



乗降場案内はこちら

アクセス



大東を知る CAMPUS-01

東京板橋キャンパス

TOKYO ITABASHI CAMPUS

上空から見る
東京板橋キャンパス
ドローン映像をチェック！



こちらから！

DATA

Place :

〒175-8571

東京都板橋区高島平1-9-1

Access :

■ 東武東上線「東武練馬駅」北口・東口下車
無料スクールバスで約7分

■ 都営三田線「西台駅」西口より徒歩9分

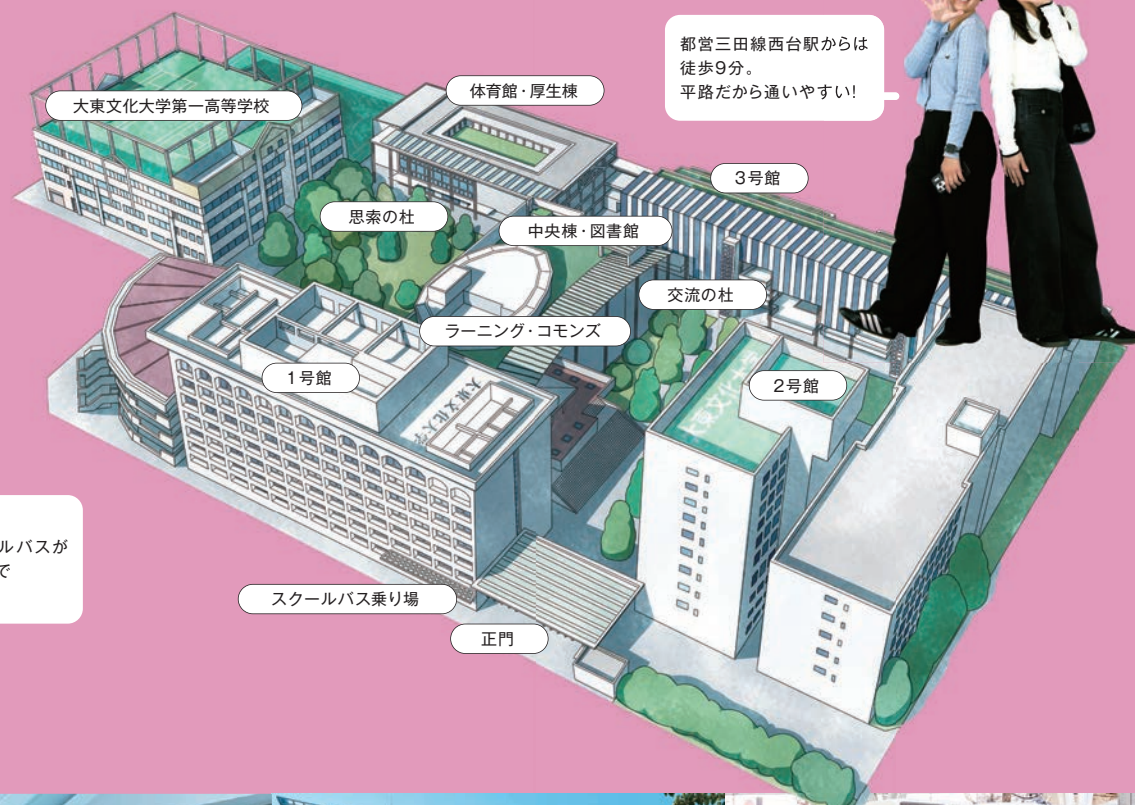
キャンパス利用研究科

文学研究科、経済学研究科、法学研究科、
外国語学研究科、経営学研究科

都心に位置する東京板橋キャンパスは、モダンなデザインと快適な学びの環境が両立しています。

明るく開放的な雰囲気が学生に人気です。

駅前から
無料スクールバスが
出ているので
通学も便利！



都営三田線西台駅からは
徒歩9分。
平路だから通いやすい！



環境対応・循環型システムを誇る

都市型キャンパス

東京板橋キャンパス

TOPICS

01



1号館自由ホールがリニューアル

100周年記念事業募金の寄付金により、2024年にリニューアルオープン。テレキューブ（個室型ワークスペース）や打合わせスペース、友人同士で座れるワークソファなどが完備されています。

02



エコキャンパス

3号館の壁面にはソーラーパネルを設置し、学内へ電力を供給しています。

03



キッチンカー販売も

学食のほか、キッチンカーやお弁当販売が outlets します。曜日ごとに異なる店舗のメニューで、日替わりランチが楽しめます。

埼玉東松山キャンパス

HIGASHI MATSUYAMA CAMPUS

上空から見る
埼玉東松山キャンパス
ドローン映像をチェック!



こちらから!

DATA

Place:

〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560

Access:

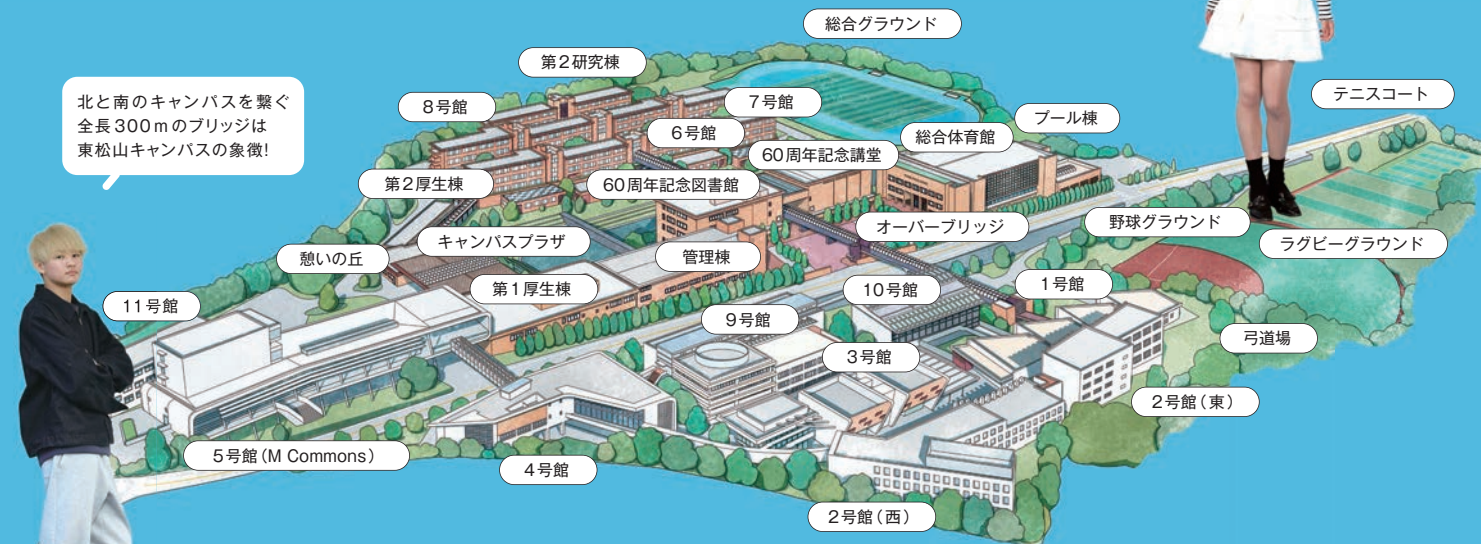
- 東武東上線「高坂駅」より無料スクールバス約7分
- JR高崎線「鴻巣駅」より有料スクールバス約40分
- JR宇都宮線・東武伊勢崎線「久喜駅」より有料スクールバス約60分

キャンパス利用研究科

アジア地域研究科、
スポーツ・健康科学研究科

豊かな自然に囲まれる埼玉東松山キャンパス。東京ドーム約6.5個分の敷地には最新の施設・設備が完備されています。

3号館のオープンスペースは最大500人が利用可能!



北と南のキャンパスを繋ぐ全長300mのブリッジは東松山キャンパスの象徴!

広大な自然に囲まれた、進化する
郊外型キャンパス

埼玉東松山キャンパス

5号館 (M Commons)

松山の「M」に山のイメージを重ね、「共同の場所 (Commons)」と合わせて名づけられた「M Commons」。スクールバス乗降場や多目的ホールなどを備えた複合施設です。

1号館

収容人数400人以上の階段教室は東松山キャンパス内で最も古く、大きな教室です。

2号館

東松山キャンパスで最も新しい校舎。書道教室、美術工芸室、ろくろ教室や窯小屋などを設置しています。

6号館・7号館・8号館

さまざまな用途を持った大中小教室が合計100室以上あります。

オーバーブリッジ

広大なキャンパス内をスムーズに移動することが可能な連絡通路です。

10号館

自然科学の実習・実験設備を備えた研究棟。陽光の射し込むガラス張りの開放的なテラスです。

4号館

国際交流センターと語学学習室を融合したLLC (Language Learning Commons) を柱とする異文化交流空間です。

9号館

1階はスポーツ科学科、2階と3階は健康科学科、4階は看護学科が使用しています。

3号館

最大500人が利用できるWi-Fiを備えたオープンスペースは学生同士の交流空間として利用されています。

キャンパスプラザ

レンガ敷きの広場。野外ステージもあり、昼休みにはバンド演奏やサークルの発表の場としても使われています。待ち合わせにも最適です。

TOPICS

01



最寄駅から無料のスクールバスが運行

最寄駅の高坂駅から埼玉東松山キャンパスまで随時無料スクールバスを運行しています。また、高崎線方面からはJR鴻巣駅、宇都宮線方面からはJR久喜駅発着の有料シャトル便が利用できます。

- 鴻巣スクールバス (片道¥100 往復¥200)
- 久喜スクールバス (片道¥200 往復¥400)

02



ビアトリクス・ポター™ 資料館

ピーターラビット™

『ピーターラビットのおはなし』を書いたイギリスの絵本・童話作家ビアトリクス・ポター™。大東文化大学は、そのポターの「自然と人間と動物の共存」という考え方に共感し、埼玉東松山キャンパスに隣接する埼玉県子ども動物自然公園の中にビアトリクス・ポター™資料館を造りました。貴重な書籍、原画、手紙などが公開された資料館では、学芸員資格取得を目指す学生の博物館実習も行われています。



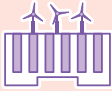
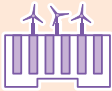
BEATRIX POTTER™ © Frederick Warne & Co., 2008.
Frederick Warne & Co. is the owner of all rights, copyrights and trademarks in the Beatrix Potter character names and illustrations. Licensed by Frederick Warne & Co. Ltd. All Rights Reserved.



ビアトリクス・ポター™
1866 - 1943
Courtesy of Victoria
& Albert Museum

研究科紹介INDEX

大東文化大学大学院は、高度にして専門的な学術の理論および応用を研究・教授し、その深奥を究めて、文化の創造・発展と人類の福祉に寄与することを目的としています。

研究科	専攻一覧	キャンパス	主な就職先	3つのポリシー
文学研究科 Graduate School of Literature	日本文学専攻 P.13 中国学専攻 P.15 英文学専攻 P.17 書道学専攻 P.19 教育学専攻 P.21	 東京板橋 キャンパス	大成建設株式会社、丸善雄松堂株式会社、IMSグループ（板橋中央総合病院グループ）、学校法人北里研究所、株式会社ビー・エム・エル株式会社、NTTデータIMジェイエスピー、書道塾講師、学校法人明星学苑 明星大学、国公私立高等学校・中学校・小学校教員など	 https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/literature/gliipo.html
経済学研究科 Graduate School of Economics	経済学専攻 P.23	 東京板橋 キャンパス	株式会社ヤマダホールディングス、株式会社青凌、ISIグローバル株式会社、株式会社加森観光本社、国公立・私立高等学校・中学校教員など	 https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/economics/public_policy_course/ecopspo.html
法学研究科 Graduate School of Law	法律学専攻 P.25 政治学専攻 P.27	 東京板橋 キャンパス	板橋区役所、タマホーム株式会社、株式会社エヴァーウィン、タカソフト株式会社、ALL-IN-S株式会社など	 https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/law/public_policy_course/ecopspo.html
外国語学研究科 Graduate School of Foreign Languages	中国言語文化学専攻 P.29 英語学専攻 P.31 日本言語文化学専攻 P.33	 東京板橋 キャンパス	株式会社セガ、株式会社池の平ホテル&リゾート、株式会社ダブルスタンダード、一般社団法人神奈川県日本中国友好協会、株式会社ジェーソン、学校法人大東文化学園、学校法人日本大学、学校法人国士舘、国公私立高等学校・中学校教員、埼玉県庁など	 https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/foreign_languages/gfopo.html
アジア地域研究科 Graduate School of Asian Area Studies	アジア地域研究専攻 P.35	 埼玉東松山 キャンパス	株式会社キッツ、NRS株式会社、日本駐車場メンテナンス株式会社、センコー株式会社、株式会社平成エンタープライズ、株式会社Cloudtrons、学校法人大東文化学園、学校法人駒澤大学、株式会社京福語学院 早稲田京福語学院、埼玉県警察本部など	 https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/asian_area_studies/gaspo.html
経営学研究科 Graduate School of Business Administration	経営学専攻 P.37	 東京板橋 キャンパス	トーセイ工業株式会社、株式会社クロスリンク、株式会社アルファ、株式会社バン・バシフィック・インターナショナル・トレーディング、株式会社サードウェーブ、株式会社ソフマップ、株式会社テクノプロ、株式会社ロピア、学校法人和光学園 和光大学、国税庁など	 https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/business_administration/gbupo.html
スポーツ・健康科学研究科 Graduate School of Sports and Health Sciences	スポーツ・健康科学専攻 P.39	 埼玉東松山 キャンパス	キオクシア株式会社、第一生命保険株式会社、レバレジーズ株式会社、セントラルスポーツ株式会社、ピンゴルフジャパン株式会社、渡辺パイプ株式会社、学校法人日本医科大学 日本医科大学付属病院、学校法人順天堂 順天堂大学医学部附属練馬病院、国公私立高等学校・中学校教員、狭山市役所など	 https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/sports_health_science/gshpo.html

研究科委員長 メッセージ

Greetings from the Dean



文学研究科

文学研究科委員長
河野 芳英教授

研究の成果を修士論文、博士論文に

「雪が溶けるとどうなる？」という質問に、理系の人たちは「水になる」と答え、人文系の人たちは「春になる」と答えるのでしょうか。それぞれ、そのような雰囲気の世界なのかもしれません。

文学研究科は、五つの専攻からなっています。日本文学・中国学・書道学専攻は博士課程後期課程までを有し、毎年博士号取得者を輩出し、研究者や大学教員になる人がいます。前期課程修了後に専修免許を取得し、高校教員になる人もいます。

英文学・教育学専攻は修士課程までですが、その後、留学等によって研鑽を積み、中高教員になる人、他大学の博士課程後期課程に進学し、大学教員になる人も多く見られます。

本研究科では、多様な文献を購読し、解釈・分析を試みながら議論を繰り広げ、実技や実践活動も行いながら、研究の成果を深めて修士論文、博士論文に結びつけてゆきます。思考力や想像力を徹底的に深め、学問を通し複眼的な視野を磨くことは人文系の研究の最大の魅力です。

本研究科では、自分の好きな研究に没頭できる掛け替えのない時間と空間がみなさんを待っています。



経済学研究科

経済学研究科委員長
中村 宗悦教授

問いを立てる力を養う場として

本研究科の教育研究は、経済学の基礎を重視する点に特徴があります。ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学といった理論的基盤を着実に身につけることは、いずれの専門分野に進むにせよ不可欠です。そのうえで、各院生の関心に応じて多様な分野の教員が研究指導にあたり、少人数教育のもとで、一人ひとりの問題意識を丁寧に深めていく体制を整えています。また、研究生の受け入れなどを通じて、多様な研究ニーズにも柔軟に対応しています。

経済学は、一方では体系化された学問です。しかし他方で、現実の経済は常に変化し続けており、その変化をどのように理解し、説明するのかという課題に、どう対峙するかに研究の出発点があります。

本研究科では、こうした「まだ十分に説明されていない現実」に向き合い、それを自らの問題として考え抜く力を養うことを重視しています。

皆さんとともに、現代の経済をめぐる諸課題について考える機会を持てることを期待しています。



法学研究科

法学研究科委員長
武田 知己教授

高度な専門性と社会における問題解決能力を有する人材の育成

法学研究科は、1977年に開設され、40年を超える歴史を持っています。本研究科は、開設時には、法律学専攻修士課程（現在の博士課程前期課程）のみでしたが、その後、1991年に博士課程（現在の博士課程後期課程）が設置されました。また、1994年には政治学専攻修士課程（現在の博士課程前期課程）が、1997年には同専攻博士課程（現在の博士課程後期課程）が設置されました。

本研究科は、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）のもとにカリキュラムを編成し、法学および政治学の研究を通じて社会に対する深い洞察力と正義観を養い、以て社会の諸問題の解決にあたる能力を持つ大学院生を育成しております。2025年3月までに300名をこえる多数の大学院生が本研究科に在籍し修士号を、また23名が博士号を取得しており、修了生は、法曹・大学教員・公務員・税理士・行政書士など、多方面で活躍しております。



外国語学研究科

外国語学研究科委員長
鈴木 敬了教授

言語を多角的な視点から研究し、世界へ羽ばたく人材を育成します

外国語学研究科では、言語学的研究、教育学的研究、言語文化学的研究を3本の柱とし、かつ各言語の高度な運用能力を養成する通訳・翻訳を中心とする実習科目を加えたカリキュラムを編成しています。また、研究の基盤となる広い素養を獲得できるよう、専攻横断的な共通科目を配置しており、外国語能力に基礎を置いた高度職業人の育成を主たる目的の一つとしています。

各種国際シンポジウムの開催や機関誌『外国語学研究』の発刊などを通じて第一線の研究者との交流、先端研究の発信を続けている外国語学研究科は、様々な国の留学生も積極的に受け入れて、国際的な学術交流と研究教育の場を提供しています。修了生は、国内外の大学を始めとする高等教育機関の他、各方面で活躍しています。

入学を検討されている方でご相談のある方は、入学センターまでお問い合わせください。また、大学院進学説明会においても施設見学や個別相談の機会を設けていますので、ぜひご利用ください。



アジア地域研究科

アジア地域研究科委員長
須田 敏彦教授

地球的視野で考えフィールドから行動する研究をめざします

グローバル化の時代に入りアジア地域は経済発展に伴って国際的な地位が高まり、さらに中国やインドの政治大国化により世界に大きな影響力を持つようになりました。その一方で、アジア地域には大きな格差が存在し、貧困や環境破壊といった諸問題、宗教や歴史認識をはじめとする対立など、取り組むべき多くの課題があります。また、国際観光客や移民が増加する中で、国際協調や多文化共生の意義が改めて問直されています。

以上のような世界情勢の変化に応じて、アジア地域研究科ではフィールドワークを重視し、多角的な視野から政治、経済、社会、文化などにかんする今日的課題に取り組むことのできる人材の育成をめざしています。

「地球的視野で考え、フィールドから行動する」——アジア地域研究科では、アカデミックな知識や分析力を修得すると共に、フィールドに根差した研究にチャレンジする皆さんを待ち望んでいます。



経営学研究科

経営学研究科委員長
高沢 修一教授

マネジメントの命題について学際的に学べる環境で専門知識を涵養する

経営学研究科は、経営学を専門的に研究する環境にあります。周知のことですが、経営学には、相反する命題が存在します。例えば、アルフレッド・デュボン・チャンドラーは、「組織は戦略に従う」と提唱しましたが、逆に、イゴール・アンゾフは、「戦略は組織に従う」と提唱しています。経営学研究科は、このような相反する命題について取り組み学際的に研究することでマネジメント力を涵養する場です。しかし、現代マネジメントは、チャンドラーやアンゾフの頃と比べると企業を取り巻く外部環境も大きく変化しているため、経営学研究科では、広く学際的な視野を養うため経営学の知識だけでなく商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学・税法学の専門知識も学べるように講義科目を設け、学外から専門家を招聘してシンポジウムも開催しています。また、『後漢書』李膺伝には、「膺は声明をもって自らを高しとす。士有り、その容接を被る者は、名付けて登龍門となす」という故事がありますが、経営学研究科は経営学を学ぶ者の登龍門になることを目指しています。



スポーツ・健康科学研究科

スポーツ・健康科学研究科委員長
川本 竜史教授

研究科の取り組みは、わが国の将来を見据えた貢献度の高い分野といえます

現在、わが国は加速的に進む少子高齢化社会の中、生活習慣病・メタボリック症候群に加えて、近年のコロナ禍による生活様式の変化がもたらす健康障害やストレス性疾患もさらなる深刻な課題となっています。今日、人々が健康に過ごすためには、個々人がより主体的でより日常的に健康維持や増進に関わることが重要とされ、健康に向けた社会づくり、スポーツ活動、医学、スポーツ医学、医療福祉等を通じた横断的な教育研究は今後必須であり、まさにスポーツ・健康科学研究科における取り組みは、わが国の将来を見据えた貢献度の高い分野と考えます。

本研究科は「スポーツ科学分野や健康科学分野での研究活動を通して、健康づくりに貢献できる人材の育成と健康増進を科学することに寄与できる人材の育成」を教育理念とし、スポーツ関連分野と健康関連分野からなる修士課程を設置しています。カリキュラムは、生理学・心理学・トレーニング科学・社会学・教育学等で編成されるスポーツ科学分野から、医学や医療・栄養・看護等に関する健康科学分野に及ぶ授業で構成された、横断的で学際的な教育研究を特徴とする独創的で創造性豊かな大学院です。

スポーツ・健康に関する学問分野に強い関心を持ち、そして関連する諸問題に対し意欲的・積極的に取り組める人を大学院生として迎え入れ、スポーツや健康あるいは医療に関連する現場および研究機関において多様な形で活躍する人材を育成し輩出することを目指しています。

日本文学専攻

Japanese Literature

東京板橋キャンパス

博士課程 前期課程
博士課程 後期課程

高度な専門性をもつ教員の指導のもと 学び甲斐のある充実した授業を展開

日本文学専攻では、古典から近現代文学、日本語と多彩なメニューを用意し、少人数制の授業を通して、きめ細かな教育を行っています。高度な専門性を持つ専任教員に加え、何人かの非常勤の先生方にも加わっていただき、学び甲斐のある充実した教育を提供できるよう努めています。

もっとも、大学院での研究では、院生個々人の主体性の発揮こそが重要になります。独自の問題意識をもって対象に取り組み、斬新な角度から問題を設定し、説得力ある方法でそれを解明することが求められます。教員は、そういう活動を支える援助者にすぎません。

大学院は博士課程前期課程（修士課程）2年と博士課程後期課程3年に分かれています。中学・高校の教員を目指す人などは前期課程のみで巣立っていくことも少なくありませんが、さらに研究を重ね、研究者を目指そうとする人は、後期課程に進み、博士の学位の取得を目標にすることになります。



日本文学専攻主任
藤尾 健剛教授

学位取得論文

- 近世期における擬人化作品の研究
- 『日本霊異記』研究
- 日本語会話におけるスタイルシフトの研究
- 『日本霊異記』における地獄思想
- 三卷本『枕草子』地名類聚的章段の研究
- 藤村文学研究 ―『破戒』を中心とした研究―
- 馬琴作品に登場する楽器について
- 日本神話と祝詞

Student Voice



日本文学専攻
博士課程前期課程 1年

陳 宇軒さん

大東文化大学 文学部日本文学科卒

物事を多角的に分析し、論理的に言語化していく力が成長

学部卒業を控えた時期、日本文学、とりわけ三島由紀夫作品をより深く専門的に探究したいという思いから大学院進学を決意しました。大東文化大学大学院を選んだのは、日本文学研究の環境が充実しており、自分の関心分野を丁寧に掘り下げられる指導体制に魅力を感じたためです。進学前は、留学生として日本語での論文執筆や高度な専門研究についていけるか、また年齢面でも少し不安がありました。が、教員のきめ細やかな指導と周囲の支援により、研究を進める中で自然と解消されました。現在は三島由紀夫の戯曲『癡王のテラス』を研究しており、作品の新たな解釈を見出すことに大きなやりがいを感じています。一方で、膨大な先行研究を踏まえつつ独自の視点を確立する難しさに直面することもあります。そうした学びを通じて、物事を多角的に分析する「批判的思考力」、それを論理的に言語化する力が成長したと感じます。今後は博士課程への進学を目指すとともに、将来的には日本で研究を続けながら専門的なキャリアを積んでいきたいと考えています。

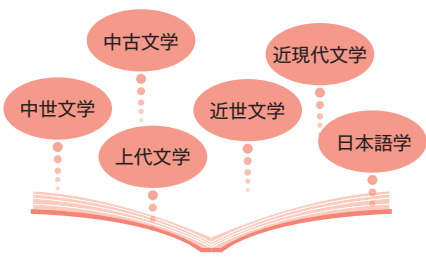
学びの特長

古典と近現代文学、日本語と多彩なメニューを用意し、少人数制の授業のなかで、きめ細かな指導を行っています。



【Webサイト】
文学研究科 日本文学専攻
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/literature/outline.html#anc01

学べる領域の図



日本文学専攻 専任教員

日本文学専攻 専任教員

※2027年度における研究指導の可否については、「2027年度大学院入学試験要項」を確認してください。

木村 陽子

博士(文学)／教授

日本近現代文学

博前 博後

小説のほか、演劇や映像メディアも研究しています。

美留町 義雄

修士(文学)／教授

日独比較文学・文化

博前 博後

交通やメディア、服飾など、西洋の諸文化の流入が、私たちの生活やものの見方をどのように変えていったのか探求します。

藤尾 健剛

修士(文学)／教授

日本近代文学

博前 博後

主な研究対象は夏目漱石。漱石は作品ごとに新しい地平を切りひらいていく偉大な作家で、やりがいがあります。

山口 敦史

修士(文学)／教授

上代文学

博前 博後

日本上代の文学作品を研究します。「日本霊異記」などの説話文学を主な対象とします。

滝口 明祥

博士(日本語日本文学)／教授

日本近現代文学

博前 博後

井伏鱒二や太宰治を中心に近現代文学を研究しています。個々の作品を、それが生み出された同時代の文脈に置き直すことで開示される意味や価値を把握するよう努めています。

田村 正彦

博士(日本文学)／准教授

中世文学

博前 博後

古典文学に表れた地獄に関する言説を、地獄絵等も用いながら思想史という形で読み解いていきます。

富樫 純一

博士(言語学)／准教授

日本語学

博前 博後

日常生活や小説・漫画で用いられることば、特に、感動詞や終助詞を中心に研究しています。

山田 悠介

博士(異文化コミュニケーション学)／准教授

環境文学

博前 博後

現代の日本の環境文学を、文体論やコミュニケーション論の観点から研究しています。

藤井 史果

博士(文学)／講師

近世文学

博前 博後

近世文学における「笑い」について研究をおこなっています。とくに近世初頭から幕末まで、絶えることなく編まれ続けた短編笑話集「噺本」の読解を通して「文字で表現された笑い」の特質に迫ります。

大西 由紀

博士(学術)／講師

比較文学・文化、翻訳研究

博前 博後

近代日本におけるオペラの変容を中心に、詩や演劇や音楽の翻訳に広く関心を持っています。

Topics

ヴァラエティに富んだ優秀なスタッフを配した 教育・研究体制を構築

日本文学専攻では、上代から近現代までの文学と日本語を担当する10名の専任教員が指導に当たっています。どの教員も、それぞれの分野で顕著な業績を持つスペシャリストです。大学院生は、少人数の授業のなかで、教員との手厚く濃密な個別交流を通して専門的な学識を深めることができます。

どの分野の研究でも同じことですが、文学研究・日本語学研究でも、先行の業績を乗り越える新たな知見を打ち出すことが要求されます。日本文学専攻の教員たちは、各自が専攻する分野において、先行研究と格闘しながら、それぞれにユニークな見解を打ち出そうと努め、それに成功してきた人々です。チャンピオン・ベルトを獲得するほどに至っているかどうかは分かりませんが、歴戦の勇士であることは確かです。

そういう研究者と親しく接し、個別的な指導を受けることは、小さくない利益が得られるでしょう。

院生会による 『日本文学論集』の刊行

日本文学専攻には、前期課程・後期課程の垣根を越えて交流する「日本文学専攻院生会」があり、研究の活性化を図っています。その中の1つの取り組みとして『日本文学論集』を刊行しています。1977年より刊行し続けている『日本文学論集』は、院生が論文の執筆、論集の製本、発刊まで行っており、質の高い論文が寄稿されています。院生が一貫して論集を作成することで、研究への主体性も育んでいます。



中国学専攻

Chinese Studies

東京板橋キャンパス

博士課程 前期課程

博士課程 後期課程

中国学として中国の文学・歴史・哲学を総合的に学び、その学びのなかで自身の研究テーマについて探究する

中国学と聞いて耳慣れない方もいるかもしれません。中国学とは、中国の文物一般を研究する学問の総称であり、シノロジーとも称されます。本専攻では、そうした伝統的な中国学の考え方にに基づき、中国文学、中国史学、中国哲学の各専門のコースに所属しながらも、三つのコースを総合的に学びながら、自身の研究テーマを探究していくことになります。

中国前近代の知識人の在り方を考察していくと、ある政治家が、歴史的な著作や文学的なそれを残していたり、あるいは詩人としてあるいは書家として作品を残したり、また、その人物が儒家であったり道家であるというケースが多く見受けられます。中国の文学、歴史、哲学の問題を探究する際、この中国学という捉え方が有効と考えられる理由の一つです。こうした中国学のカリキュラム編成のなかで自身の研究に取り組むことのできる大学院も日本では数少なくなってきました。本専攻では、中国学を踏まえた高度な専門性をそなえる教員が各コースに在籍しており、皆さんの知的探究をお手伝いする体制が整っています。

また、毎年中国などから外国人講師を招聘し、特別講義を開催して、国際的な学界動向にも関心をもてる環境づくりに配慮しています。大学院生の皆さんの活動も活発で、自発的に研究会を企画するほか、毎年、学術雑誌『中国学論集』を編集・刊行しています。



中国学専攻主任
小尾 孝夫教授

学位取得論文

- 後漢魏晉時代における家庭教育
- 王弼の「言葉」の議論 ―「名号」と「称谓」を中心に―
- 小篆について ―説文解字と石刻資料を中心に―
- 「化」に生きる ―陶淵明詩における「化」―
- 漢武帝の人事政策
- 蜀漢政権と北来人士
- 周代の士
- 前趙・後趙・前秦の尚書
- 曹魏の都督と護軍の関係について
- 毛宗崗本『三国志演義』における魯肅像

Student Voice



中国学専攻
博士課程前期課程 1年
平野 新太さん
大東文化大学 文学部中国文学科卒

総合的な視点に立って中国学を学べる点に魅力を感じます

漢文を読み解く楽しさに触れ、より専門的な環境で研究を深めたいと考え、大学院への進学を志望しました。本専攻では、中国学を「文学」「史学」「哲学」の3つの専門分野から選択して研究する形をとっています。各々の領域を互いに関連し影響しあうものとして捉える中国学の枠組みのもとで、他分野の知見も参照しつつ、史学を総合的な視点から深化させることができる点に魅力を感じ、本学を選びました。現在は、三国時代の孫呉政権における権力構造を、婚姻関係に着目して分析しています。政治上の人物関係が立体的に見えてくる点が面白く、婚姻関係を丁寧にとどることで、その背後にある結びつきが浮かび上がり明確になります。こうした研究やゼミでの報告、議論を重ねる中で、根拠を示して説明する姿勢や、異なる意見を踏まえて考えを修正する姿勢が身についたと感じています。今後は教員を目指しており、さまざまな研究を通じて培った資料を読み解く力や、物事を一つの見方に決めつけず多面的に考える姿勢など、大学院で得た経験を活かしていきたいと考えています。

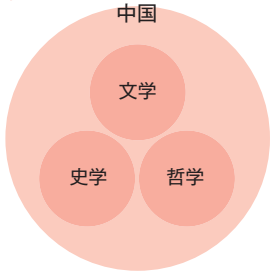
学びの特長

文学・史学・哲学の三つの分野に各々専門家を配置して、多方面の研究者・専門的職業人の養成を目指します。



[Webサイト]
文学研究科 中国学専攻
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/-literature/outline.html#anc02

学べる領域の図



中国学専攻 専任教員

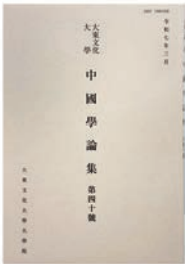
※2027年度における研究指導の可否については、「2027年度大学院入学試験要項」を確認してください。

大橋 由治 修士(文学)／教授 中国文言小説	博前 博後	妖怪、幽霊、神、仙人、美女、動物、夢などが登場し独特のプロットを展開する中国の説話を研究しています。	小尾 孝夫 博士(文学)／教授 中国中古史	博前 博後	中国の魏晋から隋唐にかけての歴史、とくに、東晋南朝(宋・齊・梁・陳)時期の政治史および政治制度史について研究しています。
小塚 由博 博士(中国学)／教授 中国文学(明・清)	博前 博後	明末清初という激動の時代を生きた文人たちの文化活動(詩・文・随筆・小説・戯曲・書画の制作など)を考察し、彼らの多様な生活の実態を研究しています。	宮井 里佳 文学修士(博士後期課程単位取得満期退学)／教授 仏教学・中国仏教	博前 博後	中国中世(北魏後半～初唐頃)の宗教思想、浄土教を中心に、中国撰述經典や仏教類書、景教などを文献的に研究しています。
高橋 睦美 博士(文学)／准教授 中国道家思想・「老子」注釈史	博前 博後	「老子」を中心とした中国の古代から中世までの思想史を研究しています。	亀澤 孝幸 博士(書道学)／講師 中国書道史・書論		書の歴史を物質と観念の両面から探究しています。
宮田 義矢 博士(文学)／講師 宗教学・民間宗教		近代中国宗教、特に儒教・仏教・道教や民間信仰が入り混じって形成された「民間宗教」と呼ばれる宗教伝統を中心に研究しています。			

Topics

機関誌『中国学論集』

中国学専攻では、院生が主体となり、毎年度『中国学論集』という雑誌を刊行しています。最近では、大学院の演習中に読み進めた文献の「訳注」を、成果として報告しています。文献を読んで終わりではなく、それを成果として公表することは、研究を行う上では、大変意義があることです。本雑誌では、「訳注」の他、「論考」、「翻訳」、「書評」、「資料紹介」等のテーマで、各自その成果を報告することができます。(後期課程 阿久津光貴)



中国哲学演習(『老子解』)

北宋の蘇轍著『老子解』は、その注に、儒・仏・道の三教の思想が窺えるのが特徴です。授業では、章ごとに担当者を決めて輪読します。担当者は、考異・書き下し文・現代語訳・語注を作ってレジュメにし、他の参加者とその検討を行います。内容読解の前に、版本の校勘を行うため、書誌学・校勘学の知識が生きてきます。現代語訳の際には、現代日本語の表現を工夫し、原文の細かなニュアンスを的確に伝えられるようにすることを重視しています。(前期課程 北澤隆志)



中国史学演習(『健康実録』)

唐の許嵩撰『健康実録』は、健康の歴史や地理、さらには六朝期の遺跡を考察する上で重要な史料です。本書は、健康周辺の情報にとどまらず、六朝期の歴史を包括的に把握できる点に特色があります。本授業では、正史の記述と照合しながら本書を精読し、史料の読み解き方と歴史理解を深めていきます。読解およびレジュメ作成を通じて、史料批判能力と論理的思考力を養います。また、本授業で培われる知識や方法は各自の研究の基盤となるため、継続的かつ主体的な取り組みが求められます。(前期課程 羅洋)



英文学専攻

English Literature

東京板橋キャンパス

修士課程

奨学金を活用した1年間の留学を通じて 英米文学・文化を考究

英文学専攻は、大きな柱としてイギリス文学とアメリカ文学、そして英語学を教授しています。イギリス文学ではシェイクスピアの時代から20世紀あたりまでをカバーしていて、アメリカ文学は19世紀に関しては巨匠ホーソンとヘンリー・ジェームズの研究者を擁し、その周辺作家に関する授業も展開しています。また21世紀という新しい時代の作家にも対応しています。英語学に関しては、教員の専門性はあるものの、院生の要望を積極的に受け入れて、期待に応える授業を展開しています。専任教員にいても非常勤教員にしても、院生に対して柔軟に対応し、真摯な教育を行っています。

少人数ゆえに、院生同士のつながりは強く、コミュニケーションは緊密に取られています。

大学院は修士課程2年間で構成されています。英文学専攻の最大の特徴は、院生が希望すれば、毎年1人もしくは2人は奨学金が与えられて、1年間留学できるということです。留学して、結果的に海外で修士号(MA)を取った人も少なくありません。最近の例をいくつか紹介すると、イギリスのバーミンガム大学やランカスター大学でMAを取っています。英文学専攻のこのような特典をぜひ享受してください。



英文学専攻主任
里見 繁美教授

学位取得論文

- Lewis Carroll's Sound Techniques in The Nursery "Alice"
- The Politics of the Gaze in the Works of Charlotte Brontë
- The Transformation of Naomi Alderman's Philosophy of Gender
- Elizabeth Gaskell and the Problems of Female Roles in the Involvement of Medical Care
- The Structure of the Mother and Daughter Relationship in British Novels
- Girls' Quest for Womanhood
- British Minorities in the Works of Andrea Levy
- 認知言語学のアプローチから提案する前置詞のコアミーニング

Student Voice

ディスカッション授業で知る多様な解釈に刺激を受ける日々



英文学専攻
修士課程2年
崔 明欣さん
中国・長春大学
外国語学部 英語学科卒

大東文化大学の大学院は、1年間を通してシンポジウムや特別講義などの行事が充実している点に魅力を感じました。自身の研究を深めるだけでなく、学外の先生方の話を聞ける機会や、Teaching Assistant制度を通じて学部生と交流できる場も多く設けられていることから、幅広い視点で学べる環境と考えて志望しました。実際、少人数制の授業を通して一つの作品を深く読み込むことができる点や、ディスカッション形式のなか、多様な解釈が存在することを学べる点は大きな魅力だと感じています。現在取り組んでいる研究テーマは、W. Somerset Maughamの*On a Chinese Screen*と*The Painted Veil*における空間経験の描写を、感覚・身体・想像という観点から分析するもの。物語の内容以外の描写に注目することで、作品の読みがより立体的になることに魅力を感じています。今は大学院で培った多角的に考える力や、自分の考えを論理的に伝える力を活かせる分野への就職を目指しており、まずは社会の中で経験を積みながら自分の関心や研究テーマを見つめ直し、今後の進路をより具体的に考えていきたいと思っています。

学びの特長

歴史と伝統のある英語圏の文学や文化を学び、豊かな人間性と創造力溢れる国際化に適応できる人材の育成を行います。



【Webサイト】
文学研究科 英文学専攻
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/-literature/outline.html#anc03

学べる領域の図

英文学

米文学

英語学

英米文化

英文学専攻 専任教員

※2027年度における研究指導の可否については、「2027年度大学院入学試験要項」を確認してください。

河野 芳英

修士(文学)／教授
文学・英国児童文学

修士

『ピーターラビットのおはなし™』の作者、ピートリクス・ボター™の生涯と業績を掘り下げて研究してゆきます。

小池 剛史

博士(英語学)／教授
英語史(特に古英語)、ウェールズ語学

修士

英語とウェールズ語の歴史を研究し、イングランドとウェールズが歴史的にどのように関わってきたかを考察します。

里見 繁美

修士(文学)／教授
アメリカ文学・比較文学

修士

アメリカは比較的短い歴史にもかかわらず、多種多様な文化を育んできました。その本質に迫ることがテーマです。

山口 みどり

Ph.D.(Sociology)／教授
イギリス社会史、ジェンダー史

家族、教育、チャリティ、政治、宗教等、近代イギリスの様々な側面を、ジェンダーを軸に領域横断的に分析しています。

菊池 かおり

Ph.D.(English)／教授
英文学・文化

修士

20世紀前半のモダニズム以降の小説、特にヴァージニア・ウルフなど女性作家の作品を中心に、文学と建築の横断的な関係性について研究をしています。

日野原 慶

博士(文学)／准教授
現代アメリカ小説

修士

現代のアメリカ小説やネイチャーライティングなどを研究対象として、それぞれの作品において提示される環境観についての考察を行っています。

藤村 希

Ph.D.(English)／准教授
近代アメリカ文学・文化

修士

19世紀のナサニエル・ホーソンを中心とする作家の作品を、文化・社会・歴史との関連の下にジェンダーの観点から研究しています。

深澤 明利

博士(国際文化)／講師
アメリカ文学

第二次世界大戦以降のアメリカ文学、とりわけ帝政ロシアに生まれ、のちにアメリカへ亡命した多言語作家ウラジーミル・ナボコフの小説を中心に研究しています。

Topics

紀要『ポローニア』の発刊

『ポローニア』の発刊は30号台に入りました。この紀要は大学院生の1年間の研究成果の発表の場であり、特に1年生にとっては、この発表の公開を持って本格的に研究生活をスタートさせていきます。研究論文を仕上げるということは、自分で発掘したテーマに真摯に向き合い、それを探求して、そして極めるという過程を経るわけですが、それこそが人生における重要な知的財産の構築へと繋がってゆく過程そのものです。毎年11月上旬に開催される「英文学シンポジウム」での発表を基に、推敲を重ねて書き上げたものが、『ポローニア』なのです。大学院修了後に、更に研究生活を続けるにしても、あるいは別の道へ進むにしても、貴重な体験として残ってゆくはずです。



奨学金による留学

英文学専攻の最大の特徴は、院生が希望すれば、毎年1人もしくは2人は奨学金が与えられて、1年間留学できるということです。基本的には、修士課程の2年間は授業をしっかり受講して実力をつけ、3年目に留学するパターンが一般的です。留学して、結果的に海外で修士号(MA)を取った人も少なくありません。最近の例をいくつか紹介すると、イギリスのバーミンガム大学やロンドン大学またランカスター大学でMAを取っています。MA取得を契機に、他大学の博士課程に進む学生も少なくはありません。因みに、2022年度は1人が留学。さらに、2023年度も2人が留学しています。ぜひ、英文学専攻のこのような特典を利用して、将来を切り開いていってください。

書道学専攻

Calligraphy

東京板橋キャンパス

博士課程 前期課程

博士課程 後期課程

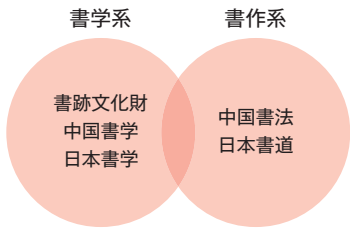
学びの特長

書学系（書跡文化財、中国・日本書学）と書作系（中国書法・日本書道）の5つのコースを設けており、幅広く研究できます。



[Webサイト]
文学研究科 書道学専攻
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/literature/outline.html#anc04

学べる領域の図



国内外の多くの大学から学生が集まり、「書」を多角的に研究

書道学専攻博士課程前期課程には、中国書法・中国書学・日本書道・日本書学・書跡文化財学の5つのコースを設けています。在学生それぞれが専門分野を持つと同時に、作品制作に関する高度な技術の習得と、書学書道史や書跡文化財に関する専門的な研究に幅広く取り組んでいます。大東文化大学ならではの書にまつわる多様な学びを刺激に、学生が主体的に講義や演習に取り組むことができる環境づくりに努めています。修了時には学外で修了制作展を開催し、書作の成果を広く公開しています。

後期課程には、中国書学・日本書学・書跡文化財の3つのコースがあり、学外の学会などに参加しながら研究者としての経験を積み、書を学問的に深めて博士号の取得を目指します。

書道学専攻には、内部進学者に加え、国内外の多くの大学から学生が集まります。在学生は、大東書道学会、大学院特別講義、修論・制作の中間発表会など、さまざまな活動を通して書を多角的に研究しています。これらの成果は、年に一度発行される『書道学論集』や『研究集録』などで発表されます。



書道学専攻主任
角田 健一 教授

書道学専攻 専任教員

※2027年度における研究指導の可否については、「2027年度大学院入学試験要項」を確認してください。

植松 浩祥 修士（文学）／教授 中国明清代の書法	博前	明代清代諸名家の連綿行草体の研究を基礎とし、現代感覚溢れる作品制作を目標とします。	河内 利治 博士（中国学）／教授 美学芸術学、中国書学、明清文人	博前 博後	人はなぜ書を「美しい」と感じ、「芸術」であると思うのか。東アジアの伝統的な書の本質を研究していきます。
西田 健 修士（教育学）／講師 日本書道（かな書道）、書写書道教育	博前	古典に立脚したかなの美を追究しながら、気品があり生気が感じられる作品の制作を目指して研究をしています。	高橋 利郎 博士（書道学）／教授 日本書道史	博前 博後	今日に伝えられる遺墨と歴史上の能書の活動について、それらを取り巻く社会的な環境にも注目しながら日本の書の特質や魅力について研究しています。
綿引 浩一 学士（文学）／教授 篆刻、金石学	博前	篆刻は方寸の小宇宙に作者の知識・技術・感興を集約していく藝術です。金石文字を研究し、作印における現代的表現の技法と理論を探索しています。	角田 健一 博士（書道学）／教授 中国書法、中国書学	博前	「今」に生きる私たちが現代の書をいかに表現すべきか。書作と書学の相互性の中で書の本質を考えます。
丸山 猶計 修士（教育学）／准教授 日本書道史	博前 博後	作品の執筆環境を復元的に考察し、伝来状況を文化史的に検討し、作品の価値や意義を追究しています。	藤森 大雅 博士（書道学）／講師 中国書学、中国書法	博前 博後	書とは何か。主に中国の書作品や書論を通して、書がどのように捉えられてきたかを研究していきます。

Topics

書の腕を磨く

前期課程では、書作に関する授業を豊富に用意しており、存分に腕を磨くことができます。主体的に筆を持って制作に取り組むためには、古典や先人の作品を詳細に見つめ、それぞれにしっかりした書道史観も養わなければなりません。手を動かすことによって、新たなモノの見方が生まれ、作家に特有の表現や研究者としての視点が育まれます。これは保存修復や表装関連の実習でも同様で、作業を通して修復や表装の意義、歴史的な位置付けなどを体験的に修得していきます。腕を磨くと言うことは、目を養い、知を蓄えるということ。書道学専攻ではじっくりと、時間をかけて書に向き合うことができます。

作品制作の成果は修了制作展で広く公開し、修了論文の概要と併せて『研究集録』にも掲載します。



書道学の包括的な学び

書道学専攻では、作品制作や書道史、美学、書跡文化財関連の授業のほかに、書写書道教育や保存修復、日中の文学や美術史など、書の周辺を取り巻く諸領域に関する授業を設置しています。また、外部講師を招いて開催する大学院特別講義では、普段は接する機会の少ない分野の講義も受講することができます。これらを通して、日中の書論をはじめとする古典文学などを読解する力をつけると同時に、今日の書を取り巻く環境にも目を向け、新たな課題を発見していきます。ほとんどの授業は少人数で展開され、輪読やテーマ発表などが行われています。

研究の成果は、毎年夏期に開催される大東書道学会や書学書道史学会などの各種学会、また、院生の編集による『書道学論集』や修了論文中間発表会などにおいて公開されます。



学位取得論文

- 王鐸の書法における繁縷趣味 一繁縷字体の特色とその効果一
- 西川寧による新出土史料の受容
- 冊名金文における書法研究
- 古筆の分割 一江戸時代初期の文化形成との関連を中心に一
- 近世初期における千字文の受容と展開 一和刻本諸体千字文を中心に一
- 徐三庚の刀法について
- 翁方綱の書学思想についての研究 一題跋に注目して一
- 米芾と日常書写 一書学思想と書簡における書写表現一

Student Voice



書道学専攻
博士課程前期課程 1年
西嶋 香菜さん
大東文化大学 文学部書道学科卒

書を「学問」として専門的に追究したいと考えて進学を決意

学部時代から書学と書作の両面を重視する教育方針に魅力を感じ、書を「学問」として専門的に追究したいと考えて進学を決めました。理論と実践が相互に影響し合う環境の中で学ぶことができ、研究で得た知見を制作に活かし、制作を通して生まれた疑問を研究へと還元できるのは大学院ならではの魅力だと思います。現在は、西周時代の金文に見られる字体の定量分析による体系化をテーマに研究しており、青銅器銘文を対象に、構成要素の差異や書写傾向を整理し、字体の派生淘汰の背景を明らかにしようとしています。一見ばらばらに見える文字資料の中から一定の傾向や構造を見出せたときはうれしく、研究のやりがいを感じます。大学院は、自分の問いとじっくり向き合える貴重な時間が得られ、深く学びたいという気持ちがある方にとってはとても充実した環境だと思います。今後は、書に関わる分野で自身の専門性を活かせる進路を検討しており、これまで培ってきた研究と制作の経験を土台に、自身の専門性を活かせる形で社会と関わっていききたいと考えています。

教育学専攻

Education Studies

東京板橋キャンパス

修士課程

学びの特長

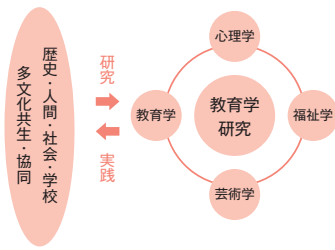
多様な価値観・文化を持つ人々と協同で問題を深く探求し活動することができる広い視野と高度な研究力・実践力を身につけます。



[Webサイト]
文学研究科 教育学専攻
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/literature/outline.html#anc05

学べる領域の図

教育学専攻の研究イメージ



学校現場や社会の諸課題に対峙する 研究者・職業人を育成する

本専攻は、深い人間理解と幅広い歴史的・社会的視野に立脚した研究能力及び高度に専門的な実践力を身につけ、社会に貢献できる教育学研究者や教育関連職業人の育成を目的としています。

そのために、教育学・心理学・福祉学・芸術学等の多様な教員スタッフを擁し、各専門分野における固有の知識の社会的意味を深く理解し、広く教育に関わる研究上の諸技能や実践上の諸技能に習熟していくことができる教育体制を整えています。また、各専門講義や研究論文作成においては、個別指導や少人数演習を重視しています。教員や院生同士で教育・人間に関わる多様な課題について問い・問われる中で、課題を発見・明確化し、論理的に組み立て、研究論文としての確に表現できる力量を身につけることができます。国籍や文化的背景の異なる同僚院生との研究の交流は、多様な価値観・文化を持つ人々と協同で問題を探求し活動する経験値を高め、多文化共生の時代教育・人間・社会に向き合う訓練でもあります。

修士論文を書き上げ修士号を取得する2年間の勉学・研究の過程は苦労もありますが、高度に専門的な教育職業人あるいは市民として、複雑さを増す学校現場や社会の現実に立ち向かっていくための研究力・実践力、そして人間力を身につけることができる時間となることでしょう。



教育学専攻主任

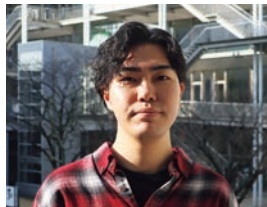
呉 裁喜 教授

学位取得論文

- 地方経済衰退下のノンエリート若年層の階級意識
- マーサ・C・ヌスパウムは現代の教育の課題にどう応えるのか
 - ― 登校、外国にルーツをものある子どもの教育を受ける権利―
- 台湾における従軍「慰安婦」研究 ― 原住民問題に視点を当てて―
- 台湾原住民族部落大学における教育実践に関する研究
 - ― 台北市および花蓮地域を事例として―
- 中国における児童虐待早期対応システムの構築に関する研究
 - ― 日本の児童虐待予防及び早期対応システムに着目して―
- 外国にルーツを持つ子供に対する継承語教育に関する研究
 - ― 中国人をめぐる親子関係に着目する―
- 双減政策後中国地方小学校教員文化の変容
 - ― 中国東北地方都市S市を中心に―
- 現代中国人留学生の生存戦略に関する研究
 - ― SNS時代におけるネットワーク形成の実態とその影響―
- 美術部女子から見る学校生活

Student Voice

「自身の問いと社会の問いが両立する」研究が目標です



教育学専攻
修士課程1年
小室 衆吉さん
大東文化大学 文学部教育学科卒

本学大学院の良さは、学生の活動を尊重してくれる点だと感じています。必修の単位が過度に多くないため、学会への参加も積極的に行うことができ、フリーランスの範疇で研究領域に近い仕事にも従事できています。一方で、先生や職員の方がそうした活動を親身に応援してくださる点も心強い部分です。現在の研究テーマは、「高等学校における探究学習の及ぼす影響について」。つまらない「勉強」ではなく、楽しい「学び」をつくるにはどうしたら良いか？という問いをもとに研究を重ねています。その過程でやりがいを感じるの、身につけてきた研究スキルや、アカデミックな理論的知識と実践が結びついたとき。「知・働・遊」が一体になっている感覚で、指導教員の先生に「良い研究とは、自身の問いと社会の問いが両立しているところにある」と言われたことを思い出します。これからも、自身の興味や関心と、自分のできること、社会に還元できる価値を考える思考法を、「知・遊・働」が溶け合う環境に身を置きつつ仕事ができればいいと考えています。

教育学専攻 専任教員

※2027年度における研究指導の可否については、「2027年度大学院入学試験要項」を確認してください。

一盛 真 修士(人文学)／教授 教育学・思想史	修士	近代の人種主義・植民地主義の問題をセクシャリティを切り口に「マジョリティ」問題として研究しています。	松田 洋介 修士(社会学)／教授 教育社会学	修士	ひとびとはどのような学校をつくってきた(いる)のか、ひとびとはどのように学校を経験してきた(いる)のかを、実証しながら、わたしたちの社会に学校が存在する意味について考えます。
山中 吾郎 学士(教育学)／教授 教科教育学(国語)	修士	文芸学の理論研究を基礎にして、子どもたちの認識と表現の力を育てる国語科教育のあり方を実践的に研究しています。	杉田 明宏 修士(教育学)／教授 社会心理学・平和心理学	修士	虐待・体罰・いじめ・差別・戦争等、さまざまな暴力の原因と克服の方法を心理学の視点から研究しています。
呉 裁喜 博士(保健学)／教授 保健福祉学	修士	子ども・家庭支援に関わる政策および実践について研究しています。	石舘 聡 博士(文学)／教授 芸術学・舞踊美学	修士	学校集団演技、コミュニケーションとしての身体、身体表現の可能性等をテーマとして理論と実践から探る研究をしています。
田尻 敦子 修士(教育学)／准教授 教育人類学、教育社会学、関係の学習論	修士	インドネシアやイエメン、セネガルにおける学校と地域の関係を状況的学習論の観点から研究しています。	中村 清二 修士(教育学)／准教授 教育方法学(民主主義教育論・道德教育論)	修士	すべての人の「生きる喜び」を保障することが民主主義的教育です。そのための教育の方法と哲学を研究しています。
中村 麻由子 博士(教育学)／准教授 教育哲学・教育臨床学	修士	教師の実践的探求と、研究者の学問的探求を行き来する教育の臨床を基盤にしながら教育学を探究しています。	飯牟礼 悦子 博士(心理学)／准教授 生涯発達心理学	修士	子どもから大人まで、さまざまな「経験」を通して発達する人間の「こころ」の研究をしています。
北風 菜穂子 博士(心理学)／講師 臨床心理学	修士	暴力を経験した子どもや女性への心理支援について、コミュニティ・カウンセリングの視点から研究しています。	山口 刀也 博士(教育学)／講師 教育史	修士	教育と戦争や軍事の複雑な関係について、子どもや教師、保護者などの歴史的経験に着目しながら研究しています。

Topics

多文化交流の授業の魅力

本専攻は、中国、韓国、内モンゴル等からの留学生が常に在籍し、日本人院生、教員との対話の中で講義や研究が行われます。異なる文化の観点から問いかけられる中で、無意識に抱いている自文化の視点や発想の前提が問直されることがあります。こうした経験は自分の研究テーマに直接関わらなくとも、自身の価値観を相対化し、探求のモチベーションを高めることにつながるでしょう。

現場感覚に裏打ちされた指導

大学院担当教員の専門分野は教育学、心理学、福祉学等多岐にわたっており、それぞれが教育・福祉・地域のさまざまな現場の担い手や子どもたちとの連携を大切にしながら研究・実践を深めています。直接の論文指導の場でも、選択授業の場でも、教員たちの豊富な現場感覚に裏打ちされた知見に接するなかで、研究課題の社会的意味をつかむことができるでしょう。



教育総合研究

1年生必修の導入科目です。多様な専門性をもつ各教員の研究視点・方法のエッセンスを学びながら、教育研究に必要な多角的な人間理解の基盤を造ります。また、年に3回、2年生と教員全員も参加して構想発表、中間発表、成果発表の機会を設け、学年・分野を超えた研究交流を行います。1年を通じて教員と院生、1年生と2年生、同学年どうして切磋琢磨しながら、一人一人の研究力の向上を図ります。



経済学専攻

Economics

東京板橋キャンパス

博士課程 前期課程

博士課程 後期課程



[\[Webサイト\]
公共政策学専修コース
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/economics/public_policy_course/](https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/economics/public_policy_course/)

学びの特長

理論と実証の両面からの指導により、社会経済の高度化等の変化に対応した分析能力を有する人材を育成します。



[\[Webサイト\]
経済学研究科 経済学専攻
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/economics/outline.html](https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/economics/outline.html)

学べる領域の図



現代の多様な変化に対応できる 分析・立案能力を養う

経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程では、経済理論及び経済諸現象を的確に理解し、現代における社会経済の高度化・複雑化・国際化・情報化等の変化に対応した分析能力・立案能力を有する研究者や専門的知識をもつ職業人・社会人の育成を目指しています。そのために前期課程では、「研究指導科目」として理論経済学、経済史、経済政策、国際経済、金融、財政、社会保障を設置し、これをさらに幅広く研究するための関連科目として多彩な「講義・実習科目」を開講しています。

後期課程では、前期課程における研究をさらに深め、発展させ、研究者として自立するために必要な広く豊かな学識と高度な研究能力、専門業務に必要な高度な専門能力をもち、社会に貢献できる人材の育成を目指します。「研究指導科目」として理論経済学、経済史、経済政策、国際経済、社会保障を設置し、さらにこれらの研究を深化させるための「関連講義科目」を開講しています。

経済学専攻では、自主的な研究を推進するために院生研究発表会やインターナル・セミナーを実施、研究機関誌『経研論集』を発行するなど、研究成果を発表する多くの機会が設けられています。また、幅広いニーズに応えられる人材を養成するために、留学生の積極的な受け入れ、公共政策学専修コースの設置なども行っています。

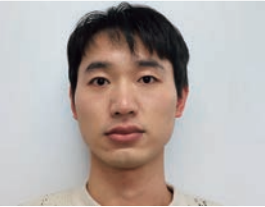
学位取得論文

- 中国におけるAI先導区の段階的導入がAI特許件数に与えた影響
 - Staggered Synthetic DIDによる分析
- 60代の就業決定に影響を与える要因の分析
 - 二値選択モデルによる実証分析
- 在留外国人が増えると犯罪率も上がるのか
 - 都道府県データから見る外国人犯罪率—
- インターネット普及率と都市・農村教育格差
 - 中国省別パネルによる推定とCFPSによる補助分析
- 農業機械購入補助金が農家可処分所得に与える影響について
 - 江蘇省における事例研究
- デュアルチャネル戦略におけるオンライン直販の市場拡大効果：理論的アプローチによる検討

- 中国における女性の収入・家庭要因が子供の課外教育投資に与える影響
- 定年延長が労働市場において日本の若年採用に与える影響
- 都市部のジェントリフィケーションが元住民の就職機会に与える影響
 - 北京市の都市部における実証分析
- PPPの導入による中国各省の公共財政支出効率性に関する研究
- モバイルゲームにおけるデジタル二次創作と売上高の関係
- 青い空の価値：中国における大気汚染が住宅価格に及ぼす影響
- 最後通牒ゲームにおける他者依存性と合理性の識別
- 中国の重点的な流域に関する環境規制が当地のFDIに及ぼす影響
- 持続可能な開発に対するクリーンエネルギーの開発・利用の影響
- 中国の財政移転が地域間財政力に与える影響—制度の変遷と効果
- 埼玉県におけるコミュニティバス事業の経営効率性評価

Student Voice

教員と学生の距離が近く、生活面でのサポートも豊富です



経済学専攻
博士課程前期課程2年
李 キン洋さん
中国武漢理工大学 物流工学部
機械設計製造及び自動化学科卒

私は大学で経済学を専攻していなかったため、当初は受験そのものや、教授に受け入れていただけるかどうか不安がありました。しかし来日後に経済学の基礎から体系的に学び直し、先生方にも励ましていただいたことですぐに心配は解消されました。本学は教員と学生の距離が近く、研究に関する相談はもちろん、キャリアや生活面でも親身にサポートしていただけます。また経済学を中心とした幅広い分野の専門家が在籍しており、多角的な視点から研究を深められる環境が整っていること、加えて留学生への支援制度も充実しており、学業と生活の両面で安心して研究に打ち込める点が魅力です。現在は、「農業機械購入補助金が農家可処分所得に与える影響について—江蘇省における事例研究」をテーマに研究を進めています。中国の農業課題を経済学的手法で分析し、政策や現場に役立つ知見を導き出せる点にやりがいを感じる今、将来は大学院で培った専門知識と分析力を活かし、教育機関や研究職など、知識を伝え・活かす立場で社会に貢献したいと考えています。

経済学専攻 専任教員

博前 博士課程 前期課程の研究指導

博後 博士課程 後期課程の研究指導

※2027年度における研究指導の可否については、「2027年度大学院入学試験要項」を確認してください。

池田 剛士

博士（経済学）／教授
産業組織論、流通経済論

博前

寡占企業による流通戦略や価格戦略が経済に与える効果について、理論的側面から研究を行っています。

大杉 由香

博士（経済学）／教授
近代日本経済史、社会福祉

博前 **博後**

長期的視点と国際比較の視点を踏まえ、かつ日常生活の目線から現在の社会福祉・保障の問題を考えます。

岡村 與子

Ph.D in Economics ／教授
応用計量経済学、統計分析

博前 **博後**

マクロ計量的分析。近年は労働生産性にかかわる分析・推定。また趨勢に伴う地域間格差の測定をしています。

川野 幸男

博士（社会学）／教授
社会学、移民研究

博前 **博後**

移民の定着が進むにつれてエスニック集団間の関係がどう変化するかを、教育や結婚の動向などから分析しています。

葛目 知秀

修士（商学）／教授
国際金融論、国際通貨制度論

国際経済学の基礎的理論を用いながら、国際経済で発生している諸問題をさまざまな角度から分析します。

顧 濤

博士（経済学）／教授
マクロ経済学

博前 **博後**

マクロ経済統計の作成、その限界ならびに経済理論との対応関係をを中心に研究しています。

内藤 二郎

博士（経済学）／教授
現代中国経済論

博前 **博後**

特に、中国の国家財政、地域経済及び国と地方の政府間関係の現状について研究しています。

中村 宗悦

修士（経済学）／教授
近現代日本経済史

博前 **博後**

近現代日本における経済史、特に1920～30年代のマクロ経済政策、政策思想を中心に研究しています。

濱本 知寿香

博士（学術）／教授
社会保障論、社会福祉

博前

家計と育児、貧困などを分析。少子高齢社会の経済的課題と対応のあり方を研究しています。

古屋 核

博士（経済学）／教授
マクロ経済学

マクロ経済学、特に制度制約下での雇用量・物価水準・為替レート間の相互関係をを中心に研究しています。

布袋 正樹

博士（経済学）／教授
財政学

博前

税制と企業行動に関する調査研究。最近は、中小企業税制について研究しています。

大浦 あすか

博士（経済学）／准教授
経済成長論

博前 **博後**

限りある資源を有効活用し、持続可能な経済成長を達成するための政策に関する研究をしています。

角田 保

修士（経済学）／准教授
応用ミクロ経済学

博前 **博後**

最近ノンパラメトリックな統計分析について研究しています。

藤村 哲史

博士（経済学）／准教授
経済学説史、経済思想史

19世紀イギリスの貧困問題に関わった経済学者の思想や理論について研究しています。

入谷 聡子

博士（経済学）／講師
アフリカ経済、開発経済学

特にエチオピアにおける、農村の貧困やリスクに関する実証研究を行っています。

Topics

公共政策学専修コースの設置

政策科学の横断的な教育・研究を通して市民社会の基盤を担う人材を育成することを目的とした公共政策学専修コースを2007年に開設しています。政策立案のスキルアップをめざしている現職公務員、公務員を志望している学部卒業生、日本の公共政策を研究対象としている留学生などを念頭においています。このコースでは、経済学研究科経済学専攻と法学研究科政治学専攻とが連携していますので、経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程に在籍して公共政策学に関係する基本的・専門的科目を履修しながら、併行して法学研究科政治学専攻の科目も履修するという特徴があります。

『経研論集』の刊行

経済学専攻博士課程前期課程、後期課程の大学院生の研究論文を掲載する『経研論集』を定期的に発行しています。経済学研究科と経営学研究科が共同で編集し、2024年度までに34号が刊行されています。大学院生の主体的な研究姿勢を促すとともに、研究成果を社会に広く発表して議論を深め、研究水準の向上に寄与する貴重な場となっています。

法律学専攻

Law

東京板橋キャンパス

博士課程 前期課程

博士課程 後期課程



[Webサイト]
法学研究科 法律学専攻
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/law/outline.html#anc01

学びの特長

学ぶ者のニーズを考えた幅広いメニューを提供し、専門職をはじめ高度な職業人の育成を目指します。

★法律学専攻 短縮修了コースの募集を開始しました。
詳しくは法学研究科ウェブサイトをご覧ください。



[Webサイト]
短縮修了コース
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/law/shortened_course/

学べる領域の図

公 法 学

民事法学

刑事法学

社会法学

国際法学

基礎法学



多様なカリキュラムで、 社会で活躍する研究者・職業人を輩出

前期課程は、専攻科目において公法学、民事法学、刑事法学、社会法学、国際法学、基礎法学に分かれ（他に関係講義科目があります）、学ぶ者のニーズを考えた幅広く多様なカリキュラムを提供しています。入試の方法も、語学を必要とする一般研究者向け方式から、語学を必要としない（他に必要とされる要件があります）方式まで多様です。卒業生の進路としては、研究者の他に税理士などの資格を必要とする職業に就く者も多くいます。現在も、実務に密着した授業がされている科目もありますが、今後はさらにこの点が重視されてくるでしょう。

後期課程は、公法研究指導、民法研究指導、刑事法研究指導、社会法研究指導、国際法研究指導・基礎法学研究指導をはじめとする各種法部門の特殊研究が開設されて、高度で多様な研究を必要とする社会の需要にえています。留学生による研究も盛んに行われています。学位取得についても、適切な指導の下に、社会的に有益でオリジナリティのある研究論文が提出されれば、積極的に授与する方向で考えられています。既に学位を取得して、大学における研究者としてまたは高度職業専門人のリーダーとして活躍している者も少なくありません。



法律学専攻主任
河野 良継教授

学位取得論文

- 美容医療契約における医師の責任法理について
ー美容医療判例からみる医師の説明義務と被害者の救済の在り方を中心にー
- 医療過誤訴訟における「相当程度の可能性」法理と中国の「原因力規則」（寄与度減責法理）の比較法に関する研究
- 定期金賠償の可否について 一逸失利益の賠償を中心にー
- 民間型ADRで行われた調停の執行力 ー日本とモンゴルでの議論を参考にして
- 裁判員制度が量刑傾向に与えた影響について
- 中国の「工会」・「工会法」の形成・展開と課題
ー「代表性」をめぐる論点を中心にー
- 素因競合事例における割合的解決とその法律構成の検討
- 事情変更の原則の効果の検討 ー日本法から中国法への示唆ー
- 親権の法的性質の変化に対する考察
～子どもの権利・福祉の観点による事例分析を通して～
- 源泉徴収制度の検討 ～法律関係における問題点を中心に～

Student Voice

先生方の贅沢な少人数指導のおかげで学びが深まる日々

学部での卒業論文だけで終わらせるには物足りなく、大学院で研究を行うことでより発展した知識を得たいと考え、大学院に進学しました。現在は、日本における安楽死法の制定可能性について研究しています。安楽死と関係する自殺幇助罪や囑託殺人罪といった刑法202条の歴史的変遷や、安楽死法のある国がどのような経緯で制定に至ったのか、日本の議論状況と比較しながら研究を深めているところです。世界各国の安楽死法制定の経緯を知ることで、日本で壁となっている部分が整理できていく点に研究の意義を感じ、デリケートな分野の学びを深めることでより慎重で多面的な思考を持てるようにもなりました。これもプロフェッショナルである先生方の丁寧で細やかな少人数指導のおかげです。振り返れば学部での勉強は、良い意味で基礎を学べる場でした。大学院はより発展した研究の中で学びを与えてもらえる応用の場所であると感じています。学部で学んだ内容に興味を持ち、より深く知識を掘り下げたいと考える人には、大学院という場所はとても魅力的な環境だと思います。



法律学専攻
博士課程前期課程2年
都丸 藍さん
大東文化大学 法学部法律学科卒

法律学専攻 専任教員

木原 正雄

博士（法学）／教授
行政法

博前 博後

現代における行政の組織・作用・手続とそれにより権利・利益を害された者の救済について研究します。

滝原 啓允

博士（法学）／准教授
労働法

博前

労働契約論について研究しています。とりわけハラスメント問題について、付随義務論等から、その最適解を探っています。

河野 良継

博士（法学）／教授
法社会学、比較法文化論

博前

近現代社会のなりたちや構造からみた法の在り方を研究中です。

萩原 基裕

博士（法学）／教授
民法（財産法）

博前 博後

契約不適合責任と追完請求権について、その本質や射程を研究しています。

藤井 康博

博士（法学）／教授
憲法、環境法

博前 博後

個人の尊厳・権利、国家論、環境法の原則について、ドイツとも比較しながら考えています。

堀川 信一

博士（法学）／教授
民法

博前 博後

契約上のトラブルについて特にどんな場合に契約が有効に成立するかドイツの議論を参考に検討しています。

松原 孝明

修士（法学）／教授
民法

博前 博後

交通事故や医療事故が発生した際の損害賠償責任についての研究を行っています。

森 稔樹

修士（法学）／教授
租税法、財政法、行政法

博前 博後

我々国民が納める税（所得税法、消費税法など）の構造や問題点などを、実際の例をみながら研究します。

山口 志保

修士（法学）／教授
民法（契約法、消費者法）

博前 博後

契約交渉中途挫折に関して、どのような当事者保護がなされているか、その際の理論について比較検討します。

山本 裕子

博士（学術）／教授
経済法

博前 博後

自由競争経済秩序の下で、事業者・消費者双方のメリットを最大化する法制度はどのようなものか、考えます。

八百 章嘉

修士（法学）／教授
刑事訴訟法

博前

刑事手続における検察官の役割や公訴提起に係る諸問題、また刑事司法制度に対する民主的統制の在り方を中心に研究しています。

山本 紘之

博士（法学）／教授
刑法、医事法

博前 博後

処罰に値する過ち（過失）とは何か、処罰すべきはどのような場合なのかを研究しています。

吉永 圭

学士（法学）／教授
法哲学、法思想史

博前 博後

「正義」という法学の根本的な概念を、具体的な問題を常に視野にいれながら考えています。

王 学士

博士（法学）／准教授
商法（特に会社法、保険法）

博前

株式会社の機関設計と、告知義務制度や保険金の不正請求に対する法的規制等といった、保険契約にかかわる法制について研究を行っています。

奥田 菜津

博士（法学）／准教授
刑法

博前

何かを「しない」ことによって犯罪を実現する、不作為犯という犯罪形態について研究しています。

Topics

「短縮修了コース」を導入 最短1年で大学院修了が可能に

法律学専攻は、大東文化大学法学部法律学科4年生を対象として「短縮修了コース」を導入いたしました。これは、4年次に科目等履修生として大学院科目を先取り履修することで、1年間大学院に在学したものとみなすコースです。4年次に修得した大学院科目の単位は、大学院正規入学後、15単位を上限として修了要件単位に振り替えることができます。そして、修士論文か調査研究報告書を提出すれば、最短1年で大学院を修了することができます。1年間の学費が実質無料になるのみならず、大学院での高度でより実践的な学びは、将来のキャリア形成に大いに役立ちます。詳細はページ上のwebページをご確認ください。

バランスよく配置された演習・講義 複数の教員からの指導で論文作成をサポート

法律学専攻では、公務員試験などの各種試験や民間就職のために必要な、高度な専門知識を修得できるように、演習科目と講義科目がバランスよく配置されており、科目を選択することができます。税理士試験の免除申請が可能な科目（税法）も設置しています。また、博士前期課程科目「総合演習」では、各々のニーズにあわせて、毎年新しいテーマで開講しており、2名の担当教員がそれぞれの専門分野の視点から指導を行っています。更に、毎年、研究発表会を開催しており、各自の研究内容やスタイルについて、複数の教員からアドバイスを受けることで、より客観的な視点で研究することを可能にしています。このような授業や発表会を通じて、修士論文・博士論文を完成させることをサポートしていきます。

政治学専攻

Political Science

東京板橋キャンパス

博士課程 前期課程

博士課程 後期課程



【Web サイト】
公共政策学専修コース
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/law/public_policy_course/

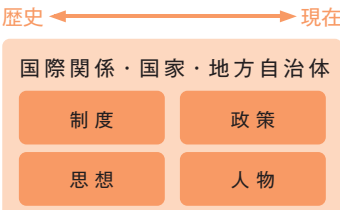
学びの特長

政治学は守備範囲の広い学問ですが、各分野の専門家を揃え、個別に基礎から指導する体制を用意しています。



【Web サイト】
法学研究科 政治学専攻
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/law/outline.html#anc02

学べる領域の図



日本と世界の政治情勢に対応した、最先端の政治学を体系的に学ぶ

政治学は、思想、政治制度、政治過程、政策など、様々な対象を取り上げるだけではありません。「歴史」から「現在」までという時間の観点からも、「地域」から「国際」までという領域の観点からも、政治学は守備範囲の広い学問でもあります。また、刻々と変わりゆく国内外の情勢や政策課題にも関心を持ち続ける必要があります。政治学専攻では、思想史や現代政治分析などの各分野の最先端を学ぶことができる講義科目と、学生自身が遂行する研究や学位論文の執筆に必要とされる手法などを基礎から学ぶ演習科目を組み合わせることにより、自身の関心分野に応じて政治学を体系的に学ぶことができます。政治学の幅広い分野の専門家が連携して教育に取り組むことにより、研究者はもちろんのこと、行政機関や民間企業に勤める高度職業人や NGO などでも活躍する専門家など、多彩な人材を養成します。

政策立案のスキルアップをめざす現職公務員、公務員志望の学部卒業生、公共政策に関心をよせる企業・各種団体等の職員などを念頭に、経済学専攻と共同で「公共政策専修コース」が開設されています。また、政治学専攻が設置された当初から、多くの外国人留学生を受け入れてきました。その実績に基づいて、複数の教員が連携して外国人留学生の研究指導も十分に行うことができます。国内外の情勢の変化が激しく、今後の世界と日本の見通しが立てにくい今、政治学専攻における学びと研究が役に立つでしょう。



政治学専攻主任
萩原 稔教授

学位取得論文

- 日本の対中外交の逆説 1933-1937
―「交渉なき外交」の帰結―（博士）
- 経済調査庁：忘れられた GHQ 占領下の経済統制機構の軌跡（博士）
- 韓国・第六共和国体制における政策展開の分析：初期民主化段階における改革の強み（博士）
- 日本と中国の相互理解における国際姉妹都市交流の役割と可能性について（修士）
- トルドー政権初期における外交政策の展開―中国承認と第三の選択の事例研究―（修士）
- 日本外務省の「対中国アプローチ」に関する研究 1933-1937（修士）
- 道府県と政令指定都市との役割分担に関する一考察～都市部における少子・高齢社会を前提として～（修士）
- 教育委員会制度改革についての一考察（修士）
- 戦後アジア情勢と日本の「架け橋外交」―東西・南北対立を超えて―（修士）
- 戦後日本の高齢者福祉政策の政策過程（修士）

Student Voice



政治学専攻
博士課程後期課程修了
金子 貴純さん
早稲田大学 法学部卒

物事の因果関係を考察する論理的思考力が身につきました

社会人として勤務する傍ら、もともと歴史が好きだったこともあり、自分で歴史を書いてみたいと思うようになりました。歴史を書くにあたっては一定の技術と作法が必要とされ、それらを正確に習得するには大学院に進学することが最適であると考えて進学を決めました。そもそも私は研究をすること自体が初めてで、正直すべてが不安でしたが、大東文化大学大学院の恵まれた研究環境が学びを後押ししてくれました。というのも大学院は少人数で構成されているため、院生室では各自の机が用意されており、IT 機器も完備されています。また先生方との距離が近く、講義中はもちろん、それ以外の場でも先生と気軽に対話ができました。そうした日々を通じて、物事の因果関係を考察するなどの論理的思考力が身につき、文章を書く力が向上したように思います。文章を書くのは簡単なようで極めて難しいもので、とくに社会人になったあと、文章力は必須のスキルといえます。大東文化大学大学院で博士号を取得した後、日本学術振興会特別研究員 (PD) の内定を得るとともに、目標としていた大学教員の職に就くことができました。

政治学専攻 専任教員

井上 浩子

PhD / 教授

国際関係学、東南アジア研究、東ティモール研究

小林 大祐

博士（政治学）／教授

行政学、比較都市政策

竹内 真雄

博士（総合政策）／教授

地方自治論、行政学

中根 一貴

博士（法学）／教授

ヨーロッパ政治史、東中欧地域研究

岡田 拓也

博士（法学）／准教授

西洋政治思想史

若林 悠

博士（学術）／准教授

政治過程論、日本の官僚制

若林 悠

博士（学術）／准教授

政治過程論、日本の官僚制

若林 悠

博士（学術）／准教授

政治過程論、日本の官僚制

若林 悠

博士（学術）／准教授

政治過程論、日本の官僚制

Topics

少人数教育と丁寧な研究指導

政治学専攻では、研究指導はもとより、コースワークでも徹底した少人数教育を行っています。それにより学位論文作成に必要なとされる知識やスキルを身につけることができます。また、自らの指導教員だけでなく、自らの専門に近い教員も積極的に研究上のアドバイスをしています。特に、院生発表会では作成途中の学位論文について報告してもらい、発表会に参加した教員が報告にコメントします。少人数教育と指導教員による丁寧な指導だけでなく、専攻に所属する教員との距離の近さが充実した研究生活を可能にします。

公共政策学専修コースを設置

大東文化大学大学院では、経済学研究科経済学専攻と法学研究科政治学専攻とが連携して、「公共政策学専修コース」を開設しています。このコースでは、経済学の科目と政治学の科目とを併行して修得しつつ、自らの関心分野に応じて勉学を深めることができます。また、リサーチペーパーの作成による修了を認めるなど、実践的な研究を行うことができます。公務員を目指す卒業生はもとより、政策立案や公共政策に関心のある公務員の方、企業や NGO・公益社団法人などの各種団体等の職員の方が勉学・研究することを念頭においたコースになります。政治学専攻では、坂部真理教授（政治学演習）、竹内真雄教授（現代地方政治演習）、小林大祐教授（行政学演習）、若林悠准教授（政治過程論演習）などが公共政策学専修コースを担当しています。

中国言語文化学専攻

Chinese Language and Culture

東京板橋キャンパス

高度な専門性を備えた、中国言語文化学専攻 中国語のスペシャリストの養成

日中の経済・文化交流は、さまざまな分野で著しい発展を続けています。こうした時代背景に対する正しい認識と中日両言語の高度な運用能力を兼ね備えたスペシャリストが、今後ますます求められることは必定です。外国語科目としての「中国語」学習熱も高まりつつあり、需要の拡大に見合った教師群の充実もこれからの課題となります。

外国語学研究科中国言語文化学専攻博士課程は、このような社会のニーズに合った中国語学スペシャリストの養成および再教育を目標に掲げ、その趣旨に沿ったカリキュラムを組んでいます。前期課程は中国語学・中国語教育学・中国言語文化学の3つの専門分野に分かれます。各分野での「特殊研究」「演習」を通じて専門知識と研究能力を身につけるとともに、実習科目、共通科目を通じて異文化コミュニケーションの技能や語学研究に必要な学際知識を学びます。

後期課程も、中国語学・中国語教育学・中国言語文化学の3つの専門分野に分かれ、前期課程における研究成果に基づき、より専門性を深め、自立した中国言語文化学研究者及び高度な専門業務従事者の養成を目的とします。研究成果の発表の場として学術シンポジウムや複数のジャーナルがあり、研鑽を積みながら研究を深め、博士号の取得を目指します。



中国言語文化学専攻主任

秋山 淳教授

学位取得論文

- 初期におけるアメリカ憲法の中国語翻訳に関する調査 — 江南製造局が翻訳した《美国憲法纂釋》を中心に
 - “把” 構文の認知言語学的考察
 - 談話場面における移動動詞“来”と“去”の選択原理
 - 中国語を学ぶ大学生のための語彙シラバス作成 — 『現代漢語常用詞表(第2版)』と中検などの出現頻度を参考に—
- 因果関係を表す構文に関する日中対照研究 — 「から文」と「ので文」の対比を中心に—
 - 日中法律用語における同形語について — 『司法通訳ハンドブック』の同形異義語を中心に—
 - 日本における司法通訳翻訳に巡る歴史的変遷と課題 — 制度と人材の二つの側面から—
 - 日中近代医学同形語語彙の比較研究 — 『醫學名詞彙編』を中心に—

Student Voice

研究力の高い指導教員から大切な学びをいただく毎日です



中国言語文化学専攻
博士課程後期課程2年
滕 暁程さん
北京言語大学大学院
外国語及び応用言語学専攻
修士課程修了

大東文化大学大学院は、中国語研究において長い歴史を有しており、研究力の高い指導教員が複数在籍している点に魅力を感じています。中国語研究に関する学術的なリソースが豊富で、大学図書館の蔵書が充実していること、また板橋キャンパスからは国立国語研究所や東洋文庫といった研究機関に気軽に足を運ぶことができる点も、近現代中国語研究を行う私にとって大きな魅力です。現在は「方言における疑問体系を分析・比較することで、中国語の疑問体系の特徴を明らかにする」というテーマで研究を行っています。比較的新しい視点からの試みであるため、理論面では自分自身で工夫しながら構築していく必要があり、その点に難しさや壁を感じることもあります。一方で指導教員の先生からの助言を通して、研究は計画的に進めるべきで、限られた時間のなか一人が出せる成果には限界があることを知り、じっくりと腰を据えて研究することの大切さを学びました。将来的には、日本の総合大学で中国語研究と中国語教育の両面に携わる教員として働くことを目指しています。

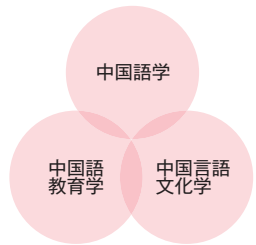
学びの特長

中国語学、日中言語比較論、中国語教育学、中国言語文化学、日中翻訳・通訳論の高度な専門性を備えた指導体制で、スペシャリストの育成をします。



【Webサイト】
外国語学研究科 中国言語文化学専攻
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/foreign_languages/outline.html#anc01

学べる領域の図



中国言語文化専攻 専任教員

秋山 淳 修士(中国言語文化)／教授 中国語学、認知言語学	博前 博後	母語話者が物事をどのように捉えて言葉にしているのかという認知的視点から中国語文法を研究しています。	安藤 好恵 修士(人文学)／教授 中国語学、中国語教育	博前	中国語でコミュニケーションする際に起こるさまざまな問題について、文法、会話、場面的アプローチをしています。
竹島 毅 修士(文学)／教授 中国語学校文法、教学法	博前	現代中国語の文構造、及び初級修了者への効果的な学習法に関して研究しています。	田村 新 博士(文学)／准教授 中国語学・中国語文法学史	博前	中国人が中国語(特に文法)をどう考えてきたかと、学校での文法をどう教えたなら良いか研究しています。
山口 直人 修士(文学)／教授 現代中国語文法、日中言語対照分析	博前 博後	文法の日中対照分析。日本語の観点から中国語をみると、中国人も気付かない文法現象がみえます。	趙 葵欣 博士(文学)／教授 中国語学・中国語教育	博前 博後	現代中国語の文法と語彙を中心に、言語類型論の視点から、言語表現や変化の普遍性と差異を研究しています。
吉田 慶子 博士(法学)、修士(外国語教育学)／准教授 通訳翻訳教育、日中言語文化交渉	博前 博後	通訳翻訳教育、通訳訓練法の中国語教育への応用、法と言語に関連した日中言語文化交渉などについて研究をしています。	山内 智恵美 博士(文学)／特任教授 中国文化、翻訳教育	博後	中国文化の具象的変遷から出発し、表象文化と社会の関係に興味があり、現在は文化変化が起こる精神的変遷を研究しています。
上田 裕 博士(言語学)／講師 中国語学	博前	現代中国語の文法や語彙について、主に語用論的、認知的な観点から研究しています。			

Topics

学術シンポジウムの開催

本専攻では外国語学部中国語学科との共催により年2回学術シンポジウムを開催しています。シンポジウムのテーマは中国文化、歴史、中国語学、中国語教育など多岐にわたり、学内外で活躍されている著名な先生による講演が企画されます。講演の前後には教員および院生による研究発表が行われ、日頃の研究成果を発表する機会として広く活用されています。近年のオンライン開催に伴い、日本国内だけでなく、中国からも多くの参加者があり、活発な質疑応答が展開されています。シンポジウムの成果は『中国言語文化学研究』として発行されます。

学術ジャーナル

研究成果をまとめ、公開することは、研究者としての業績を積むだけでなく、共通のテーマをもつ研究者に知見を提供し、議論を深めることで関連する領域を発展させていく社会的意義をもちます。このため論文を発表することは、研究者を目指す大学院生の方にとっても大切なことです。本専攻には大学院生が研究成果を論文の形で発表できるジャーナルとして、『外国語学研究』『中国言語文化学研究』が年1回発行されています。このほか、学内にも複数の学会誌があり教員、学生、卒業生の論文の投稿を受け付けています。これらのジャーナルに掲載された論文は電子化されオープンアクセス論文として公開されます。



英語学専攻

English Studies

東京板橋キャンパス

博士課程 前期課程

博士課程 後期課程

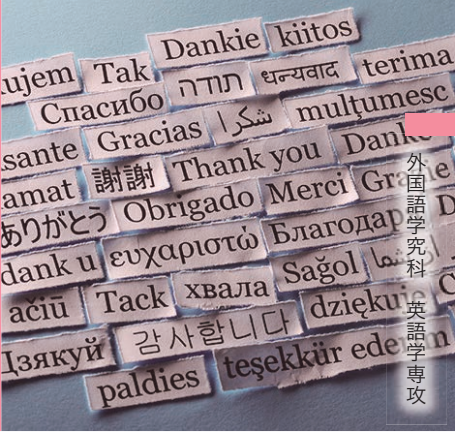
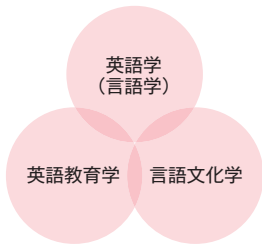
学びの特長

英語学、英語教育学、言語文化学の3分野において、理論と実践の両面から研究するとともに、実習や通訳・翻訳などの科目を通して実践的英語力を身につけます。



【Webサイト】
外国語学研究科 英語学専攻
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/foreign_languages/outline.html#anc02

学べる領域の図



「理論」と「応用」の両面から研究することで 語学のスペシャリストを養成

外国語学研究科英語学専攻は、英語を理論と応用の両面から研究するところです。専攻の名前になっている広い意味での「英語学」（英語という言葉、英語教育、英語圏の文化などを研究する諸学問）の中に三つの「分野」を設けています。狭い意味での<英語学>（英語を対象とする言語学）と、<英語教育学>、<言語文化学>です。英語学の分野には、文法を研究する文法論、意味を研究する意味論、英語の歴史的变化を扱う歴史英語学、英語の音声の研究する音声学などがあり、英語教育学の分野には、教育法、言語習得論などが、言語文化研究の分野には、地域文化、文学、思想（特にジェンダー論、宗教学）などの研究があります。

博士課程前期課程では、高度の専門知識とともに実践的英語力を身につけることを重視し、語学スペシャリストの養成・再養成を図っています。コミュニケーション実習には通訳・翻訳などの科目もあり、また共通科目には、対照言語学、社会言語学、異文化コミュニケーション研究などがあります。博士課程後期課程では、前期課程で身に付けた知識と語学力の上にさらに高度最先端の研究を行います。学会での研究発表、学術雑誌などでの論文発表を重ね、博士論文を執筆する指導体制を組んでいます。前期課程と同じく、様々な国々からの留学生を始めとして、社会の多様な層からの院生の受け入れを行っています。修了生は大学・高等等の高等教育機関を始め各方面でスペシャリストとして活躍しています。



英語学専攻主任
米山 聖子教授

学位取得論文

博士課程

- Family Language Policy and Acculturation Practices of Nepalese Families in Tokyo
- A Diachronic Comparative Study of Language Variation in Japan and Other Countries
- A Multidisciplinary Study of Diplomatic Language

修士課程

- The Influence of Japanese EFL Teachers' Explicit Pronunciation Teaching Methods on the Auditory Quality of Learners' Passage Oral Reading
- Song Translation in Musicals from English into Japanese
- Visualizing Various “Guru-Guru” Activity Practices by Experienced, Novice, and Trainee Teachers

Student Voice

「教える責任」の重さを感じ、大学院での研鑽を決めました



英語学専攻
博士課程前期課程2年
鏑野 和莉さん
大東文化大学 外国語学部英語学科卒

もともと英語教育、特に発音指導に関心があり、英語教師になりたいと考えていました。その中で大学院への進学を決めたのは学部4年生の時です。大学での授業や教育実習を通して、教師の言葉や姿勢は生徒の学びに強く影響することを実感し、教える責任の重さに気づきました。自分が納得できる専門性を身につけた上で教壇に立ちたいと考えたことから、大学院進学を選ぶことにしました。本学は少数で丁寧な指導が受けられるほか、先生方との距離が近く、じっくりと議論できる環境の中で納得できるまで向き合い、思考する力が鍛えられます。おかげで自身の考えに安易に満足せず、問い続ける姿勢が身に付きました。またハワイ留学では多様な背景を持つ人々と出会い、自分の「当たり前」を見つめ直す経験ができて、いったん立ち止まって考える姿勢が養われたと感じています。こうした姿勢を大切に、自らの考えに責任を持って行動するとともに、今後も学びを重ねながら、自分の進路に向かって成長していきたいと考えています。

英語学専攻 専任教員

博前 博士課程 前期課程の研究指導 博後 博士課程 後期課程の研究指導
※2027年度における研究指導の可否については、「2027年度大学院入学試験要項」を確認してください。

鈴木 敬了 博士（情報科学）／教授 歴史英語学、コーパス言語学	英語には1500年もの歴史があり、その変化を電子化された言語資料（コーパス）とコンピュータで解析し新たな発見を見出そうとしています。	姫田 麻利子 PhD (Didactique des langues)／教授 社会言語学・応用言語学	言語レパートリー、言語バイオグラフィ、文化間仲介に関する表象分析や、調査方法論を検討しています。
フランソワ・ルーセル DEA(Études de l'Extrême-Orient)／教授 教育史、ジェンダー・スタディーズ	日本とフランスの教科書、日本におけるフランス教育機関の歴史、異文化教育などを研究しています。	モリス・ジョン 博士（文学）／教授 比較思想	日本と西欧の比較思想。現在、近世と近代の宗教における食文化の重要性というテーマについて研究しています。
米山 聖子 PhD (Linguistics)／教授 音声学・音韻論、言語習得（特に音声・音韻面を中心に）	日本語母国語話者がどのように日本語や英語を理解しているかについて、実験的手法を用いて研究しています。	渡辺 良彦 修士（教育学）／教授 生成統語論、動的文法理論	専門はChomskyによる生成文法統語論です。現在は、言語の「核」と「周辺」の考え方を取り入れた動的文法理論の枠組みで英語の動名詞・分詞の研究を進めています。
静 哲人 PhD／特任教授 英語教育学、テストニング	英語を効果的に教える実践的方法や、英語力を測定するテスト方法等について研究しています。	淡路 佳昌 修士（教育学）／准教授 英語教育学、CALL	英語を効果的に教えるための方法や、コンピュータやインターネットを活用した英語教育について研究しています。
三島 篤志 修士（英語学）／准教授 通訳研究、通訳教育	通訳のメカニズム、通訳教育、通訳訓練法の英語教育への応用などについて研究しています。	ジェフリー・マーティン 修士（応用言語学）／講師 第二言語習得、言語評価	リスニングや語彙などの第二言語能力の習得と測定について研究しています。現在、語彙知識と聴解力の関係を調査しています。
三上 傑 博士（言語学）／講師 生成統語論、対照言語学	言語変異と言語変化に共通する仕組みの解明を目指し、生成文法理論に基づく理論的・実証的研究を行っています。		

Topics

丁寧な研究指導と整備された教育体制

英語学専攻では、様々な分野の専門家を揃えて、多様な研究テーマに対応できるようになっています。また、それぞれの指導教員の下では、少人数（1名～数名）の院生に対して、将来、研究者・教育者として独り立ちできることを目指して、丁寧な教育指導が行われています。そして、正規の院生としては学力が十分でないという場合でも、まずは研究生として入って院生と一緒に授業を受ける中で力を磨くという道も用意されており、最初は研究生として入学してくる学生も少なくありません。

留学生の受け入れ体制を整備

英語学専攻では、今までも世界各国から多数の留学生を受け入れてきました。実際、留学生の占める割合も非常に高く、様々な言語・文化の背景を持つ学生と一緒に切磋琢磨しており、お互いの交流の機会にもなっています。授業も、英語だけで（または主に英語を使って）行われるものも沢山あります。修士論文、博士論文は英語で執筆することになっていますが、留学生によっては、むしろその方が助かるということもあるのではないのでしょうか。

多数の博士学位取得者と高等教育機関への就職

英語学専攻では、今までに多数の博士学位取得者を出してきました。その数は大東文化大学の大学院全体でも上位に入ります。これは、やはり一貫した丁寧な研究教育指導体制と院生自身の努力の賜物と言えるでしょう。博士号を取得した修了生は、海外や国内の大学、高等専門学校を始めとする高等教育機関に勤務するものが多くあり、様々な分野で活躍しています。また、修士号を取得した修了生も、高等学校、中高一貫校や専門学校などの教育機関で多く活躍しています。

日本語文化学専攻

Japanese Language and Culture

東京板橋キャンパス

国際的・学際的な日本語文化学研究を通して、 世界で通用する人材を輩出

日本語文化学専攻は、建学の精神「東西文化の融合」に則って、本学の学問的伝統を継承発展させるとともに、アジア・ヨーロッパと日本の研究をつなぐ国際的・学際的な日本語文化学・比較文化学・日本語学・日本語教育学の構築を目指します。

本専攻は、「日本語文化学系」と「応用日本語学系」という二つの系から成っています。日本語文化学系は、比較文学・比較文化学を軸に、国際的・学際的な日本学・日本語文化学として、(1) 日本文学に立脚した日中比較文学、(2) 日本の言語文化に立脚した比較文化学 を展開します。応用日本語学系は、(3) 日本語学、(4) 日本語教育学・言語政策論を発展的に統合する新たな教育研究体系の構築を目指します。

このような高度専門教育に加え、博士課程前期課程では、学生、特に留学生の日本語論文の文章力向上に力を入れており、実習科目12科目では、現代日本語のネイティブ・チェックと日本語論文の作成指導、引用史料の読解をサポートする古典日本語・漢語漢文学により、きめ細やかな個別指導を行っています。

博士課程後期課程では、国際的な日本語文化学研究者及び高度な専門家の養成を目的とします。海外の学術的需要に応えて、国際的・学際的な日本学研究の共通基盤を形成し、自立して研究活動のできる研究環境と教育体制を整備しています。

本専攻の修了者は、多くが海外の大学の日本学担当教員や日本語教員として、また、国内の中学校・高等学校での国語科教員として活躍しています。

学位取得論文

- 山東京伝『桃太郎発端話説』考 ―挿絵の趣向を中心に―
- 『南総里見八犬伝』における『法華経』と日蓮伝
- シテイル形の表すパーフェクト的意味に対応する中国語の形式
- 中上級レベル日本語学習者を対象とした多聴の効果 ―探索的研究―
- 『訓蒙図彙』元禄版本の研究
- カンボジア人日本語学習者の<読解力>向上のための日本文学教材開発 ―宮澤賢治『オツベルと象』を対象として―
- 依頼表現のポライトネスに影響する対人関係と心的負担
- 日本語・満洲語・漢語の言語接触の研究：オノマトベを中心に

Student Voice

研究を通じて得られる多くの出会いは一生の財産になる



日本語文化学専攻
博士課程前期課程修了
小形 駿介さん
大東文化大学
外国語学部日本語学科卒

私は卒業論文の研究をさらに深めたいと思い、大学院に進学しました。研究テーマは、江戸時代の山東京伝の赤本『桃太郎発端話説』の挿絵です。それ以前の版本挿絵と比較すると、京伝が他の本の挿絵をまねたり、京伝自身が旧作の絵を発展させてゆくプロセスを読み取ることができます。この発見を論証して、修士論文にまとめあげることは苦労しました。多くの先生方から考証の方法や論証の進め方、文章表現まで具体的な御指導を受けて、修士論文を完成させた時の達成感、言葉にできません。私は4月から地元の中学校の教員になります。二年次には学部のTAとして授業補助にはいり、諸行事の準備や運営のお手伝いもしました。学部側から教える側へと意識も変わり、大きく成長できたと思います。大学院には学部だけでは手に入らないものが、たくさんあります。研究会・学会では、他大学の先生方や院生・学部生との貴重な出会いもありました。2年間という時間は短いですが、得られる経験は一生の財産になると実感しています。

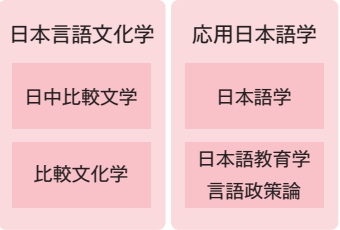
学びの特長

日本語文化学、日本語学、日本語教育学を幅広く網羅し、留学生にも配慮。海外の大学の日本学・日本語教員、中高国語科教員には抜群の就職実績を誇っています。



【Webサイト】
外国語学研究科 日本語文化学専攻
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/foreign_languages/outline.html#anc03

学べる領域の図



日本語文化学専攻 専任教員

※2027年度における研究指導の可否については、「2027年度大学院入学試験要項」を確認してください。

上村 圭介 博士（学術）／教授 言語政策論、日本語教育学	博前 博後	社会や技術・メディアの変化が、言語間の格差や私たちの言語生活、言語政策にどのように影響するのかを研究しています。	藏中 しのぶ 博士（文学）／教授 日本文学、日中比較文学	博前 博後	日本文学・日中比較文学の「出典論」の方法で、言葉と絵画という異なる表現から<伝・賛と肖像>の構造と個々のキャラクターを研究しています。
須田 義治 博士（学術）／教授 現代日本語の文法	博前 博後	現代日本語の文法、特にアスペクトについて、形態論、構文論、テキスト論などの観点から研究しています。	田崎 敦子 博士（人文科学）／教授 日本語教育学、談話分析	博前 博後	日本語母語話者と非母語話者のコミュニケーションの促進・阻害要因を探るために、母語場面、接触場面の談話分析を行っています。
大塚 貴史 博士（言語学）／講師 現代日本語の語彙論・意味論		語の意味と用法の関係、類義語の意味的異同など、現代日本語の「意味」について研究しています。			

Topics

複数の教員による計画的な研究指導

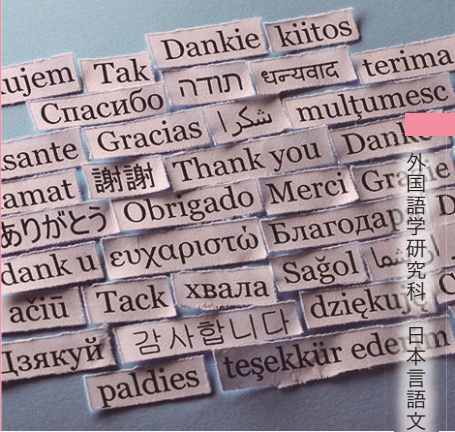
本専攻の最も大きな特長は、計画的な個別の研究指導にあります。入学後、研究計画書の提出→中間発表会→「東西文化の融合」国際シンポジウムと、ステップを踏んで、指導教員をはじめ、講義科目・実習科目・共通科目の複数の教員が連携して、みなさんを修士論文・博士論文提出へと導きます。研究テーマについては、入試センターを通して、事前に研究指導教員にご相談ください。

論文力向上のためのサポート

学位を取得する学生にとって、論文を書くための技術と能力は重要です。本専攻では、研究の基礎力を養うため、前期課程に計12の実習科目（日本語文化学実習Ⅰ～Ⅴ、日本語研究基礎実習Ⅰ～Ⅴ、日本語論文作成実習Ⅰ～Ⅱ）を設置し、留学生だけでなく、すべての学生の論文力の向上を図っています。また、これらの実習科目は、学内の他専攻の学生にも開放されています。

「東西文化の融合」国際シンポジウム

大東文化大学は、創立時から「東西文化の融合による新しい文化の創造」を目指して比較研究や国際交流に力を入れてきました。本専攻では、留学生教育と海外の大学との教育・研究交流を推進し、本学の学問的伝統を継承して、建学の精神を冠する「東西文化の融合」国際シンポジウムを開催し、国内外の研究者を招き、大学院生が研究発表を行って、毎年、新たな研究を発信しています。



アジア地域研究専攻

Asian Area Studies

埼玉東松山キャンパス

アジア諸地域の課題について考察・発信し アジアに貢献できる人材を育成

博士課程前期課程では、世界情勢に関する総合的な洞察力を修得し、アジア諸地域の歴史的経験をふまえて政治、経済、社会、文化などに関する今日的な課題について考察していきます。そのために「アジア地域研究」「地域研究特殊講義」といった科目を準備しています。また、フィールドワークの方法を実践的に修得する「地域調査方法論」、グローバル化と多文化共生の時代に対応して、日本に学ぶ留学生が日本語による論文執筆と運用能力の向上を目指す科目、世界に研究成果を発信することを目標とする院生が英語による論文執筆と運用能力の向上をめざす科目も設置しています。さらに、大学院で学んだ専門知識を活かした職業教育も提供しています。

博士課程後期課程では、博士課程前期課程で修得したフィールドワークの実践的な方法論や、外国語の高度な運用力を活かしながら、アジア諸地域に根差し、地域の人々と共に歩み、世界に発信し、貢献することを目標とします。長い時間をかけてアジア地域が育んできた固有の伝統の価値を理解し、尊重する姿勢と、新しい時代の変化を読み取り、適切に対応する柔軟性を養うために、具体的な諸問題についてより深く追究していきます。そのために、学内で行われる学術交流会や国際会議での報告のほかに、随時、学外での成果発表や論文執筆が奨励され、国内外で評価される高度な水準の学術論文の完成を目指します。



アジア地域研究専攻主任
高野 太輔教授

学位取得論文

- 台湾の権威主義に挑戦した市民運動について 一鹿港鎮反デュボン運動を中心にー
- 中国の伝統的な箸文化の伝承と促進に関する研究
- 現代における影絵劇の新たな可能性 一皮影戯を対象としてー
- 台湾半導体産業の発展と課題 一TSMC の視点から
- ジェニン難民キャンプフリーダムシアターにおけるジュリアーノ・メール・ハメルの実践
- 福建・東北三省の新華僑二世のアイデンティティに関する研究
- 戸田市のICT教育事例に基づくフィリピンでのICT教育改善の検討 一急成長するICT産業への人材育成を目指して
- 中国20代女性の海外旅行先の選好と意向に関する研究 一旅行におけるニーズと精神的な追求を中心に
- 中国の大学生の進路選択における親の「意見」の影響 一河北省の大学生を事例に

Student Voice

社会人2年目で進学を決意、丁寧な指導のおかげで不安も解消



アジア地域研究専攻
博士課程前期課程2年

リュウ ソウナンさん

駿河台大学 現代文化学部現代文化学科卒

大学院への進学を考え始めたのは、社会人2年目のときです。世界や社会が激しく変化する中で、その動きが今後どのように変わり、自分の生活にどう影響を与えるのかを考えるようになったのがきっかけでした。大東文化大学を選んだ理由は、長い歴史があり、優れた教授陣がそろっているから。中国に関する資料が豊富であり、私の研究テーマと非常に合致していたことも要因の一つでした。最初は自分の知識が大学院の水準に対応できるのか心配しましたが、前期課程1年次に幅広い分野の講義を受けることができ、先生方の丁寧な指導によって基礎をしっかりと固められたことで次第に不安は解消されました。現在の研究テーマは、「日中の『対立』における『収束期』の研究 1972年～2012年」です。大学院での研究を通して、物事の見方が大きく変わり、政策や決定の表面的な部分だけでなく、その背景にある理由や他の要素との関連性まで考えられるようになりました。今後も、物事を深く分析する力と、継続して努力する力をキャリアや生活に活かしていきたいと考えています。

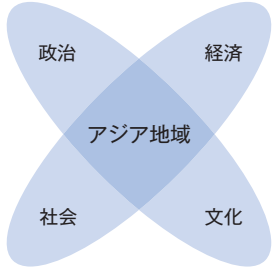
学びの特長

アジア諸地域の歴史的経験をふまえ、政治、経済、社会、文化などに関する今日的な課題に関する深い洞察力をもち、アジアを舞台に国際的に活躍できる人材を育成します。



[Webサイト]
アジア地域研究科
アジア地域研究専攻
https://www.daito.ac.jp/education/
graduate_school/department/
asian_area_studies/outline.html

学べる領域の図



アジア地域研究専攻 専任教員

井上 貴子 博士(学術)／教授 南アジア地域研究(インド文化・芸能史)		博前 博後	南アジアの音楽芸能を、人々の生活や社会との関係を踏まえて、主に歴史的な側面から研究しています。		遠藤 元 博士(理学)／教授 東南アジア経済論・企業研究(タイ)	博前 博後	東南アジア(タイ) 経済がグローバル化の中でどう変容しつつあるかを、産業や企業に注目して研究しています。	
岡本 信広 博士(経済学)／教授 中国経済、地域経済学、産業連関分析		博前 博後	中国経済を研究しています。中国の地域経済、都市化を計量的に分析することを主な研究テーマにしています。		小高 泰 修士(国際学)／教授 国際関係論・東南アジア地域研究(ベトナム)	博前 博後	ドイモイ(刷新)路線実施後のベトナム政治の変化を、主に国防政策から研究しています。中越関係にも注視しています。	
ギャレン・ムロイ Ph.D(政治学)／教授 政治学、国際関係、平和安全保障論		博前 博後	I research Japan's politics and history of defence, security, strategy, peace, conflict and diplomacy.		高野 太輔 博士(文学)／教授 西アジア史	博前 博後	西暦7世紀以降の西アジア史について、アラビア語の史料を解説しながら研究しています。	
須田 敏彦 博士(農学)／教授 農業経済学、南アジア農村経済論、日本農業論		博前 博後	農業や食料、環境を軸に、インドやバングラデシュなど南アジアの経済について研究しています。		滝口 明子 博士(アジア地域研究)／教授 文化史	博前 博後	日本、アジア、ヨーロッパの文化交流史。茶と酒、本と読書、旅と会話など人間の生活史、思想史を比較研究しています。	
新里 孝一 修士(法学)／教授 政治学(政治文化論・政治教育論)		博前 博後	日本人の政治観や政治的認識(評価・批判)の特質について考察しています。		松本 弘 PhD／教授 中東地域研究	博前 博後	中東諸国の民主化やイスラーム主義に関わる近現代史や政治社会状況を研究し、問題の本質や背景に迫ります。	
兪 敏浩 博士(法学)／教授 現代中国論、東アジア国防関係論		博前 博後	中国外交、日中関係を軸に、戦後東アジア国際政治史を研究しています。		A.R.ウルック Ph.D／准教授 Visual Culture and Contemporary Japanese Society	博前 博後	My primary research focuses on the functions of artefacts, realia, film, and art, beyond their immediate purpose and place in society. A sub-strand of my research pertains to visual culture from a Japanese perspective and also on contemporary Japanese society in a broader context.	
飯國 有佳子 博士(文学)／准教授 文化人類学、東南アジア地域研究(ミャンマー)		博前	近代化やグローバル化に伴うミャンマーの社会的変容を、宗教をとおして研究しています。		金 美珍 博士(社会学)／准教授 韓国の社会政策、韓国市民社会	博前 博後	近年急速に変動している韓国社会、とりわけ、こうした変動による人々の行動や生活、文化、政治の変化を研究しています。	
小尾 淳 博士(アジア地域研究)／准教授 インドの芸能と社会、宗教学		博前 博後	南インドを中心に芸能と社会の関係性や宗教文化について研究しています。		廣江 倫子 博士(法学)／准教授 香港法	博前 博後	香港法を研究しています。具体的には、返還後香港の「憲法」である香港基本法、および香港国家安全維持法を、研究しています。	
鈴木 真弥 博士(社会学)／教授 南アジア地域研究(インド)		博前 博後	1990年代以降、南アジアは急激な経済発展と社会・文化変容を遂げています。グローバル／ローカルな視点から、主にインドのカースト、不可触民問題や社会運動について調査研究を進めています。		廣江 倫子 博士(法学)／准教授 香港法	博前 博後	香港法を研究しています。具体的には、返還後香港の「憲法」である香港基本法、および香港国家安全維持法を、研究しています。	
吉村 武典 博士(文学)／准教授 史学、中世・近世アラブ・イスラム史		博前 博後	マムルーク朝時代を中心に近代以前のエジプト、シリアにおける政治制度、社会とその変化について研究しています。		浦山 あゆみ 博士(文学)／教授 中国語史・漢語音韻	博前 博後	漢字の注釈を中心に、韻書・字書の継承について研究しています。	
倉島 孝行 博士(農学)／准教授 自然資源管理、東南アジア地域研究		博前 博後	森林の保全・再生に関する政策動向と実態などについて、主に東南アジア地域を対象に研究しています。		ミヤ・ドゥイ・ロスティカ 博士(政治学)／准教授 東南アジア地域研究(インドネシア)	博前 博後	インドネシアの政治と政治文化を研究しています。特に女性の役割や女性像の政治的表象に注目しています。	

経営学専攻

Business Administration

東京板橋キャンパス

博士課程 前期課程

博士課程 後期課程

学びの特長

経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学・税法の分野において企業社会や国際社会で必要とされる能力を有する専門的職業人を養成します。



【Webサイト】
経営学研究科 経営学専攻
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/business_administration/outline.html

学べる領域の図



高度な専門性を持つ職業人または研究者の育成に 研究科全体で取り組む

経営学専攻は、経営学の幅広い領域を学問対象に、経営学、商学・マーケティング、知識・情報マネジメント、会計学・税法の4つの分野を柱として、高度な専門性を持つ職業人を育成すること、または、研究者を育成することを目的に、研究教育に日夜取り組んでいます。

前期課程では、学士課程を修了した後に経営学の特定のテーマについてさらに専門的に追及したいと考えている方、実社会で経営活動に携わった経験を通じて自分の専門的スキルをさらに向上させたいと実務経験を体系的理論的に考察し直したいと考えている方、会計職業人を目指す方、さらには日本で経営学を修めたいと希望している外国人留学生の方、に対して学生各自がその目標を達成できるように丁寧な研究指導体制を敷いています。

前期課程では、通常2年間で修士論文の提出と審査を経て修士（経営学）の学位を取得するように研究を進めてもらいます。入学をお考えの方は、ご自身の研究テーマと指導教員についてよく検討してください。また、研究を始めるにあたり、学士課程で確かな学びを修めた水準の経営学の学識、専門文献の読解力と論理的考察を表現しうる文章力が必要です。

後期課程では、将来研究者を目指す方、より高度で専門的な理論やスキルの獲得を目指す方の要請に応えられるように論文完成までの丁寧な指導体制を敷いています。前身である経済学研究科経営学専攻の時代より、博士（経営学）の学位を取得し活躍する出身者を輩出しています。



経営学専攻主任
榎屋 聡教授

学位取得論文（前期課程）

- 日本企業における新卒外国人社員の研修方法
- Eスポーツ・ビジネス市場におけるマインド・スポーツ・マーケティングに関する一考察
- 中国における日系企業の人的資源管理の現地化の考察
- 間接税における通脱罪に関する研究
- 中国の環境政策に関する研究
- 消費者の購買行動に影響を与えるインフルエンサー・マーケティングに関する研究
- 老舗企業のイノベーション能力に関する研究
- 日中ハイテク企業におけるオープン・イノベーションのマネジメントに関する研究

Student Voice

自分の中に新しい視点を定着させられる場所になる



経営学専攻
博士課程前期課程1年
濱村 直哉さん
大東文化大学
経済学部社会経済学科卒

将来の税理士開業を見据えて大学院への進学を決意しました。既に税理士試験の会計科目に合格して実務も経験していましたが、租税法を体系的に深く理解したいと考えたのが理由でした。本学は日頃から先生方との距離が近く、講義中はもちろん、それ以外の時間でも研究の悩みや疑問に対して親身に相談に乗っていただけます。また専門が少し異なる先生方も積極的にアドバイスをくださり、広い視野を得られる学びにつながっています。現在は、法人税法第34条2項に規定される、役員給与の「不相当に高額な部分」の判定基準に関する研究を行っています。実務上、形式的な基準のみならず、職務内容や類似法人との比較など複雑な要素が絡むなど学説や判例の分析が難しいと感じる一方で、実務に直結する分析で理論を突き詰める工程にやりがいを感じています。大学院への進学は、明確な研究意識ややりたいことがあるなら、まずは思い切って飛び込んでみることをお勧めします。それまでの知見に加え、自分の中に新しい視点を定着させられる場所になるはずです。

経営学専攻 専任教員

【博前】 博士課程 前期課程の研究指導 【博後】 博士課程 後期課程の研究指導
※2027年度における研究指導の可否については、「2027年度大学院入学試験要項」を確認してください。

五十嵐 正毅 修士（商学）／教授 広告論	【博前】 【博後】	日本における広告活動について研究しています。	國府 俊一郎 博士（経済学）／教授 人的資源管理論、労働経済学、台湾経済	【博前】 【博後】	日本企業における（海外進出を含む）、人を守り、人を活かす人的資源管理を研究しています。
崔 冬梅 博士（経営学）／教授 経営システム科学、eコマース、サービス・マネジメント	【博前】 【博後】	経営システム科学の理論と方法論のほか、オンライン消費者行動やサービス・マネジメントなどについて研究しています。	首藤 禎史 博士（商学）／教授 マーケティング、事業戦略論、商業経営論	【博前】 【博後】	現代企業はどのようにして顧客を惹きつけ、競争市場を生き抜いていくのかを理論と実務の両面から研究します。
白井 康之 博士（工学）／教授 企業経営におけるデータマネジメント	【博前】 【博後】	企業経営におけるデータの活用方法やデータ分析技術に関する研究を実データをもとに行なっています。	白坂 亨 博士（商学）／教授 財務管理論、会計史	【博前】 【博後】	株式会社の制度と機能について、主にお金の流れ、管理の側面から研究します。
高沢 修一 博士（経営学）／教授 税法学、税務会計論	【博前】 【博後】	東アジア、特に韓国や沖縄の税制・財政制度について研究しています。	高田 茂臣 博士（経済学）／教授 経営史、企業家論	【博前】 【博後】	ヨーロッパ各国・地域の経済発展を、その担い手となった「企業者」の視点から取り上げ、解明しています。また、上記観点から高級ブランド・高級車の経営史についても研究しています。
ダレン・マクドナルド 修士（経営学）／教授 人的資源管理論、ダイバーシティ経営、質的研究方法論	【博前】	会社が人をどのように扱うかを実践と理論で考えます。ダイバーシティ経営についても研究しています。	榎屋 聡 博士（工学）／教授 ゲーム理論、意思決定論	【博前】 【博後】	複数の人間が存在する経済的・社会的状況の中で各人のとるべき合理的な行動について研究する。
山崎 雅教 修士（商学）／教授 財務会計	【博前】 【博後】	企業がどのような会計情報をどのような形で公表するのが最も適切かを研究しています。	山田 敏之 博士（商学）／教授 経営戦略論、経営組織論、イノベーション・マネジメント	【博前】 【博後】	企業が新しい製品やサービスを継続的に創造し、長期の維持発展を図るために必要な経営の在り方を探ります。
渡邊 直人 修士（商学）／教授 管理会計論	【博前】 【博後】	管理会計システムが組織成員の行動や意識に及ぼす影響などについて経験的な研究を進めています。	清水 真人 博士（工学）／准教授 ロジスティクス計画、交通計画、都市計画		社会におけるロジスティクスの役割、持続可能なロジスティクスの実現等について研究しています。
中村 文彦 博士（経済学）／准教授 財務会計、国際会計、会計監査	【博前】	財務報告に関わる諸問題について会計監査、国際会計を含めて研究しています。	山口 貴史 博士（経営学）／准教授 財務会計、経営分析	【博前】	企業の経営者が、会計情報を開示することによる経済的影響について、数理モデルを用いて研究しています。

Topics

一人の研究を研究科全体でサポート 「修士論文中間報告会」

前期課程では、1年次後期に「修士論文中間報告会」で研究状況を報告してもらいます。担当指導教員以外の教員や参加院生からも多数のコメントやアドバイスを寄せられます。



社会人も研究指導を受けやすい「夜間・土曜開講」

前期課程では、夜間（6時限18:30～20:00、7時限20:10～21:40）または土曜日に研究指導科目を開講する教員を配置しています。仕事を持つ社会人でも、社会経験を活かしながら経営学の専門的な研究を深めることを期待しています。開講は東京板橋キャンパスです。

スポーツ・健康科学専攻

Sports and Health Sciences

埼玉東松山キャンパス

「スポーツ科学」・「健康科学」を横断的に学び、異なる分野の特論および演習を履修することにより、総合的視野と専門的洞察力を身につける

本専攻において教育研究の柱となる分野は、「スポーツ科学」及び「健康科学」の2つの分野ですが、院生は所属する分野以外の関連科目を10単位以上履修することができます。このように院生は異なる分野の特論および演習を履修することで所属分野の知識をより深化させることが可能となり、分野を横断した総合的視野と専門的洞察力を修得できます。

また、科学研究に取り組むうえで基本となる原則や倫理手続き、そして研究計画書の作成から修士論文執筆までの指針となる研究過程の概要を理解させるための共通科目「スポーツ・健康科学研究法」を配置しています。

さらに、本専攻では、科目全般において議論が活発に行えるような授業展開を推進し、研究計画書や報告書作成に対する議論および相互評価（ディベート）が可能なグループ演習を重要視し、学生には招聘した研究者による講演、研究会等を授業の一環として受講させることで最新の知見を修得させています。



スポーツ・健康科学専攻主任
築瀬 澄乃教授

学位取得論文

- 陸上短距離選手における等速性股関節屈曲・伸展筋力のトレーニング効果について
- 女子競技参加資格における競技の公平性とルールあり方に関する研究
- イミダゾールジペプチド摂取が有酸素運動中脂質代謝に及ぼす影響
- 東京箱根間往復大学駅伝競走における選手選考の評価指標に関する研究
- 線虫の長寿命変異体における寿命と酸素消費量の関係
- ヒト癌細胞株におけるγ-グルタミルトランスペプチターゼの癌特異的経路の病理分子学的検討
- 若年者の顔面皮膚色素沈着と食事・環境調査
- 乳がん検診の受検行動と関連因子の検討

Student Voice



スポーツ・健康科学専攻
修士課程2年
松本 日向さん
大東文化大学
スポーツ・健康科学部健康科学科卒

新規性のある研究に取り組めたことは大きなやりがい

学部時代にお世話になったゼミの教授のもとで、卒業論文で取り組んだテーマをさらに深めたいと考え、本学大学院への進学を決めました。本学は自分の裁量で研究を進められる環境があり、主体性を持って取り組める点が魅力だと感じています。食生活と肌のシミの関連をテーマに研究を進め、これまで曖昧に語られてきたシミの初発年齢について一定の示唆を得ることができました。また、年齢層によって食習慣に基づく影響の現れ方が異なる可能性が見えてきたのも成果の一つです。科研費をいただいているテーマでもあり、新規性のある研究に取り組めたことは大きなやりがいを感じるものでした。こうした研究を通して、計画を立てて物事を進める力や、正解のない問いに向き合い続ける力が身についたと感じています。今後も未知の課題に対して臆せず取り組む姿勢を大切にしていきたいです。

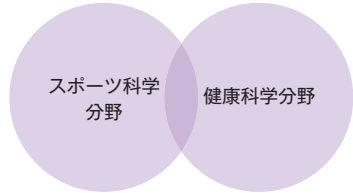
学びの特長

スポーツ科学分野の高度な専門的知識をもつ教員や指導者、医療分野で予防医学を修得した専門的職業人を育成します。

【Webサイト】
スポーツ・健康科学研究科
スポーツ・健康科学専攻
https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/department/sports_health_science/outline.html



学べる領域の図



スポーツ・健康科学専攻 専任教員

※2027年度における研究指導の可否については、「2027年度大学院入学試験要項」を確認してください。

伊藤 直子 博士（老年学）／教授 老年学、地域・在宅看護学、高齢者看護学	修士	地域で暮らす高齢者の健康づくりの方策を探り、実践的なアプローチを研究しています。	勝又 宏 Ph.D. in Kinesiology／教授 運動制御・運動学習科学	修士	人間が動作をコントロールする、上達する仕組みについて、力学・神経生理学・心理学の観点から研究します。
蕪木 智子 博士（学術）／教授 栄養学、栄養生理学	修士	栄養成分や栄養状態が生体に及ぼす作用を研究し、生活習慣病予防やスポーツ現場のコンディショニング支援に結びつく知見の提供を目指し研究しています。	川本 竜史 博士（学術）／教授 スポーツバイオメカニクス	修士	最新鋭の科学的機材を駆使して、スポーツ選手の動作を解析し、競技力の向上に役立てます。
小出 高義 修士（教育学）／教授 体育科教育、武道教育	修士	スポーツにおける教育はどうあるべきか、スポーツと教育の両面から、その望ましいアプローチについて研究していきます。	後藤 孝也 博士（医学）／教授 細胞生理、細胞内情報伝達、がん細胞学	修士	病体病因を細胞、遺伝子レベルで解析し、なぜ病気が起こるのかを明らかにすること、そしてその治療や治療薬開発へつながる研究をしています。
坂口 由紀子 博士（看護学）・修士（保健学）／教授 小児看護学、小児保健	修士	希少疾患を持つ子どもと家族の在宅療養におけるニーズと支援の課題について研究しています。	杉森 裕樹 博士（医学）、修士（臨床疫学）／教授 予防医学・疫学・公衆衛生学	修士	メタボリックシンドロームなどの生活習慣病をどうしたら予防できるか？真面目に科学しています。
田中 博史 博士（医学）／教授 スポーツ心理学・コーチング科学 （バレーボール）	修士	競技スポーツや健康増進スポーツにおける実施者および指導者の心理的諸事について研究します。	日野 るみ 博士（医学）／教授 病理学	修士	病理形態学的アプローチに加え、分子生物学的手法を用いて癌の成因・病態について明らかにしていきます。
平尾 磨樹 Ph.D. in Chemistry, 学士（医学）／教授 スポーツ医学、健康づくりの運動生理学	修士	多様な運動実践（ゴルフ等）でストレス軽減や認知症予防、柔軟性向上やケガ予防をめざし、健康長寿・アンチエイジングにつながる運動法を研究します。	福島 洋一 博士（医学）、修士（農学）／教授 食と健康科学	修士	食品成分（ポリフェノール、カフェイン、カロテノイドなど）のデータベース構築、食事を含む生活習慣と健康との関連の研究や食品の開発を行っています。
本間 俊行 博士（医学）／教授 運動生理学、競技パフォーマンス分析	修士	筋エネルギー代謝およびパフォーマンスの向上、トレーニング方法の検証等について研究しています。	水野 千奈津 博士（工学）、修士（看護学）／教授 ウィメンズヘルス学	修士	女性の生涯を通じた健康課題を明らかにしウェルネスな状態へ導く解決手法を探索しています。
宮城 修 博士（体育学）／教授 スポーツ生理学、トレーニング生理学	修士	スポーツ・トレーニング活動中の生理学的応答、身体組成とウエイトコントロール、アスリートの体力的特徴について研究しています。	宮本 正秀 修士（文学）／教授 イギリス文学、ヨーロッパ文化史	修士	17世紀英国の文学作品、科学者や医師の著作を読み、近代的自然観が確立される過程を研究しています。
森 浩寿 修士（教育学）／教授 スポーツ法学、スポーツ政策学	修士	差別、ドーピング、選手契約、事故の法的責任といったスポーツに関連する法的問題を取りあげています。	築瀬 澄乃 博士（医学）、修士（理学）／教授 放射線生物学、基礎老化学、分子生物学	修士	生物が老化する仕組みについて、実験動物を用いて探るとともに、抗老化に役立つ物質の探索を行っています。
湯浅 康弘 博士（スポーツ健康科学）／准教授 トレーニング科学	修士	競技向上を目的としたウエイトトレーニングおよびコンディショニングトレーニングについて研究しています。			



各専攻カリキュラム一覧

文学研究科

日本文学専攻（博士課程前期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目（演習科目）		関連講義科目	
古典文学演習（一）～（四）	各4	中国文学研究	4
近代文学演習（一）～（四）	各4	文化史研究（一）・（二）	各4
日本語学演習（一）・（二）	各4	比較文学研究	4
専攻科目（講義科目）		中国哲学研究	4
古典文学特殊研究（一）～（四）	各4	外国語科目	
近代文学特殊研究（一）～（四）	各4	中国語	4
日本語学特殊研究（一）・（二）	各4	英語	4

中国学専攻（博士課程前期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目（演習科目）		関連講義科目	
中国哲学演習（一）・（二）	各4	国文学特殊研究	4
中国文学演習（一）・（二）	各4	文化史特殊研究	4
中国史学演習（一）・（二）	各4	外国語科目	
専攻科目（講義科目）		中国語	4
中国哲学特殊研究（一）・（二）	各4	英語	4
中国文学特殊研究（一）・（二）	各4		
中国史学特殊研究（一）・（二）	各4		

英文学専攻（修士課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目（演習科目）		関連講義科目	
英米文学演習（一）～（八）	各4	英語教育学特殊講義（一）・（二）	各4
英語学演習（一）・（二）	各4	研究方法路論	4
英米文化演習（一）・（二）	各4		
専攻科目（講義科目）			
英米文学特殊講義（一）～（六）	各4		
英語学特殊講義（一）・（二）	各4		
英米文化特殊講義（一）・（二）	各4		

書道学専攻（博士課程前期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		関連講義科目	
中国書学演習（一）A・B	各2	中国哲学特殊研究A・B	各2
中国書学演習（二）A・B	各2	中国美学特殊研究A・B	各2
日本書学演習（一）A・B	各2	中国文学特殊研究A・B	各2
日本書学演習（二）A・B	各2	上代文学特殊研究A・B	各2
中国書法演習（一）A・B	各2	中古文学特殊研究A・B	各2
中国書法演習（二）A・B	各2	中世文学特殊研究A・B	各2
日本書道演習（一）A・B	各2	近世文学特殊研究A・B	各2
日本書道演習（二）A・B	各2	東洋文化史特殊研究A・B	各2
書跡文化財学演習（一）A・B	各2	東洋美術史特殊研究A・B	各2
書跡文化財学演習（二）A・B	各2	外国語科目	
中国書学・書法特殊研究（一）A・B	各2	中国語A・B	各2
中国書学・書法特殊研究（二）A・B	各2	英語A・B	各2
日本書学・書道特殊研究（一）A・B	各2		
日本書学・書道特殊研究（二）A・B	各2		
文化財保存学特殊研究（一）A・B	各2		
文化財保存学特殊研究（二）A・B	各2		
書写書道教育特殊研究（一）A・B	各2		
書写書道教育特殊研究（二）A・B	各2		

日本文学専攻（博士課程後期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目（演習科目）		関連講義科目	
古典文学演習（一）～（三）	各4	中国文学研究	4
近代文学演習（一）～（三）	各4	文化史研究（一）・（二）	各4
日本語学演習（一）～（三）	各4	比較文学研究	4
専攻科目（講義科目）		中国哲学研究	4
古典文学特殊研究（一）～（四）	各4		
近代文学特殊研究（一）～（四）	各4		
日本語学特殊研究（一）・（二）	各4		

中国学専攻（博士課程後期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目（演習科目）		関連講義科目	
中国哲学演習（三）・（四）	各4	国文学特殊研究	4
中国文学演習（三）・（四）	各4	文化史特殊研究	4
中国史学演習（三）・（四）	各4		
専攻科目（講義科目）			
中国哲学特殊研究（三）・（四）	各4		
中国文学特殊研究（三）・（四）	各4		
中国史学特殊研究（三）・（四）	各4		

教育学専攻（修士課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目（導入科目）		関連講義科目	
教育総合研究	4	教育史特殊講義	2
専門科目（演習科目）		教育方法特殊講義	2
教育史特殊演習	2	教科教育特殊講義	2
教育方法特殊演習	2	教科外教育特殊講義	2
教科教育特殊演習	2	教育臨床特殊講義	2
教科外教育特殊演習	2	教育と地域特殊講義	2
教育臨床特殊演習	2	教育と身体特殊講義	2
教育と地域特殊演習	2	教育と社会特殊講義	2
教育と身体特殊演習	2	子ども福祉特殊講義	2
教育と社会特殊演習	2	教育相談特殊講義	2
子ども福祉特殊演習	2	発達心理特殊講義	2
教育相談特殊演習	2	社会心理特殊講義	2
発達心理特殊演習	2		
社会心理特殊演習	2		
専攻科目（研究指導科目）			
教育学研究指導Ⅰ	4		
教育学研究指導Ⅱ	4		

書道学専攻（博士課程後期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		専攻科目	
中国書学演習（三）A・B	各2	書跡文化財学演習（三）A・B	各2
中国書学演習（四）A・B	各2	書跡文化財学演習（四）A・B	各2
中国書学演習（五）A・B	各2	書跡文化財学演習（五）A・B	各2
日本書学演習（三）A・B	各2	中国書学特殊研究A・B	各2
日本書学演習（四）A・B	各2	日本書学特殊研究A・B	各2
日本書学演習（五）A・B	各2	書跡文化財学特殊研究A・B	各2

経済学研究科

経済学専攻（博士課程前期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
研究指導科目		講義・実習科目	
経済学研究指導Ⅰ・Ⅱ	各4	理論経済学A～C	各4
		経済史A・B	各4
		応用経済学A～C	各4
		経済学特殊講義A・B	各4
		外国文献研究A・B	各2
		文献調査研究	2

法学研究科

法律学専攻（博士課程前期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		関連講義科目	
公法特殊講義A～D	各4	法制史特殊講義	4
公法演習A～C	各4	現代社会における法と情報特殊講義	2
刑事法特殊講義A～D	各4		
刑事法演習A～C	各4		
民事法特殊講義A～F	各4		
民事法演習A～C	各4		
社会法特殊講義A～D	各4		
社会法演習A～C	各4		
国際法特殊講義A～D	各4		
国際法演習A～C	各4		
基礎法学特殊講義A～D	各4		
基礎法学演習A～C	各4		
総合演習A・B	各4		

政治学専攻（博士課程前期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		関連講義科目	
政治学特殊講義A・B	各2	現代政治論特殊講義A・B・C・D・E・F	各2
政治学演習	4・8	導入科目	
日本政治史特殊講義A・B	各2	経済学総合研究A・B	各2
日本政治史演習	4・8	政治学総合研究A・B	各2
日本政治思想史特殊講義A・B	各2	英書講読A・B	各2
日本政治思想史演習	4・8	数理解析A・B	各2
中国政治思想史特殊講義A・B	各2		
中国政治思想史演習	4・8		
西洋政治史特殊講義A・B	各2		
西洋政治史演習	4・8		
西洋政治思想史特殊講義A・B	各2		
西洋政治思想史演習	4・8		
比較政治学特殊講義A・B	各2		
比較政治学演習	4・8		
国際政治学特殊講義A・B	各2		
国際政治学演習	4・8		
国際関係論特殊講義A・B	各2		
国際関係論演習	4・8		
政治過程論特殊講義A・B	各2		
政治過程論演習	4・8		
行政学特殊講義A・B	各2		
行政学演習	4・8		
公共政策論特殊講義A・B	各2		
公共政策論演習	4・8		
現代地方政治特殊講義A・B	各2		
現代地方政治演習	4・8		
政治文化論特殊講義A・B	各2		
政治文化論演習	4・8		

経済学専攻（博士課程後期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
研究指導科目		関連講義科目	
経済学研究指導Ⅰ～Ⅲ	各4	理論経済学A～C	各4
		経済史A・B	各4
		応用経済学A～C	各4

法律学専攻（博士課程後期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
研究指導科目		授業科目	
公法研究指導	－	公法特殊研究A～C	各4
民法法研究指導	－	民法法特殊研究A～C	各4
社会法研究指導	－	社会法特殊研究A～C	各4
刑事法研究指導	－	刑事法特殊研究A～C	各4
国際法研究指導	－	国際法特殊研究A～C	各4
基礎法学研究指導	－	基礎法学特殊研究A～C	各4

政治学専攻（博士課程後期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		授業科目	
政治学研究指導	－	政治学特殊研究	4
政治過程論研究指導	－	日本政治特殊研究Ⅰ	4
日本政治史研究指導	－	日本政治特殊研究Ⅱ	4
日本政治思想史研究指導	－	日本政治特殊研究Ⅲ	4
中国政治思想史研究指導	－	国際関係・地域研究Ⅰ	4
西洋政治史研究指導	－	国際関係・地域研究Ⅱ	4
西洋政治思想史研究指導	－	国際関係・地域研究Ⅲ	4
比較政治学研究指導	－	国際関係・地域研究Ⅳ	4
国際政治学研究指導	－	国際関係・地域研究Ⅴ	4
国際関係論研究指導	－	現代政治特殊研究Ⅰ	4
行政学研究指導	－	現代政治特殊研究Ⅱ	4
現代地方政治研究指導	－	現代政治特殊研究Ⅲ	4
公共政策論研究指導	－	現代政治特殊研究Ⅳ	4
政治文化論研究指導	－	現代政治特殊研究Ⅴ	4

外国語学研究科

中国言語文化学専攻（博士課程前期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		共通科目	
中国言語文化学特殊研究ⅠＡ・Ｂ	各２	言語学特殊講義ⅠＡ・Ｂ	各２
中国言語文化学演習ⅠＡ～Ｄ	各２	言語学特殊講義ⅡＡ・Ｂ	各２
中国言語文化学特殊研究ⅡＡ・Ｂ	各２	外国語教授法特殊講義Ａ・Ｂ	各２
中国言語文化学演習ⅡＡ～Ｄ	各２	第二言語習得理論Ａ・Ｂ	各２
中国言語文化学特殊研究ⅢＡ・Ｂ	各２	社会言語学特殊講義Ａ・Ｂ	各２
中国言語文化学演習ⅢＡ～Ｄ	各２	対照言語学Ⅰ（日英）Ａ・Ｂ	各２
中国言語文化学特殊研究ⅣＡ・Ｂ	各２	対照言語学Ⅱ（日中）Ａ・Ｂ	各２
中国言語文化学演習ⅣＡ～Ｄ	各２	対照言語学Ⅲ（日韓）Ａ・Ｂ	各２
実習科目		比較文化論特殊講義Ａ・Ｂ	各２
中国語コミュニケーション実習ⅠＡ・Ｂ	各１	映像メディア文化論Ａ・Ｂ	各２
中国語コミュニケーション実習ⅡＡ・Ｂ	各１	情報文化論Ａ・Ｂ	各２
中国語コミュニケーション実習ⅢＡ・Ｂ	各１	言語情報処理論Ａ・Ｂ	各２
中国語コミュニケーション実習ⅣＡ・Ｂ	各１	マルチメディア教育論Ａ・Ｂ	各２
中国語コミュニケーション実習ⅤＡ・Ｂ	各１		
中国語コミュニケーション実習ⅥＡ・Ｂ	各１		

英語学専攻（博士課程前期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		実習科目	
英語学特殊研究ⅠＡ・Ｂ	各２	異文化コミュニケーション実習ⅠＡ・Ｂ	各１
英語学演習ⅠＡ～Ｄ	各２	異文化コミュニケーション実習ⅡＡ・Ｂ	各１
英語学特殊研究ⅡＡ・Ｂ	各２	異文化コミュニケーション実習ⅢＡ・Ｂ	各１
英語学演習ⅡＡ～Ｄ	各２	異文化コミュニケーション実習ⅣＡ・Ｂ	各１
英語学特殊研究ⅢＡ・Ｂ	各２	異文化コミュニケーション実習ⅤＡ・Ｂ	各１
英語学演習ⅢＡ～Ｄ	各２	異文化コミュニケーション実習ⅥＡ・Ｂ	各１
英語学特殊研究ⅣＡ・Ｂ	各２	異文化コミュニケーション実習ⅦＡ・Ｂ	各１
英語学演習ⅣＡ～Ｄ	各２	異文化コミュニケーション実習ⅧＡ・Ｂ	各１
英語学特殊研究ⅤＡ・Ｂ	各２	共通科目	
英語教育学特殊研究ⅠＡ・Ｂ	各２	言語学特殊講義ⅠＡ・Ｂ	各２
英語教育学演習ⅠＡ～Ｄ	各２	言語学特殊講義ⅡＡ・Ｂ	各２
英語教育学特殊研究ⅡＡ・Ｂ	各２	外国語教授法特殊講義Ａ・Ｂ	各２
英語教育学演習ⅡＡ～Ｄ	各２	第二言語習得理論Ａ・Ｂ	各２
英語教育学特殊研究ⅢＡ・Ｂ	各２	社会言語学特殊講義Ａ・Ｂ	各２
英語教育学演習ⅢＡ～Ｄ	各２	対照言語学Ⅰ（日英）Ａ・Ｂ	各２
言語文化学特殊研究ⅠＡ・Ｂ	各２	対照言語学Ⅱ（日中）Ａ・Ｂ	各２
言語文化学演習ⅠＡ～Ｄ	各２	対照言語学Ⅲ（日韓）Ａ・Ｂ	各２
言語文化学特殊研究ⅡＡ・Ｂ	各２	比較文化論特殊講義Ａ・Ｂ	各２
言語文化学演習ⅡＡ～Ｄ	各２	映像メディア文化論Ａ・Ｂ	各２
言語文化学特殊研究ⅢＡ・Ｂ	各２	情報文化論Ａ・Ｂ	各２
通訳・翻訳コミュニケーション特殊研究Ａ・Ｂ	各２	言語情報処理論Ａ・Ｂ	各２
		マルチメディア教育論Ａ・Ｂ	各２

日本言語文化学専攻（博士課程前期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		実習科目	
日本言語文化学特殊研究ⅠＡ・Ｂ	各２	日本言語文化学実習ⅠＡ・Ｂ	各１
日本言語文化学演習ⅠＡ～Ｄ	各２	日本言語文化学実習ⅡＡ・Ｂ	各１
日本言語文化学特殊研究ⅡＡ・Ｂ	各２	日本言語文化学実習ⅢＡ・Ｂ	各１
日本言語文化学演習ⅡＡ～Ｄ	各２	日本言語文化学実習ⅣＡ・Ｂ	各１
日本言語文化学特殊研究ⅢＡ・Ｂ	各２	日本言語文化学実習ⅤＡ・Ｂ	各１
日本言語文化学演習ⅢＡ～Ｄ	各２	日本語研究基礎実習ⅠＡ・Ｂ	各１
日本言語文化学特殊研究ⅣＡ・Ｂ	各２	日本語研究基礎実習ⅡＡ・Ｂ	各１
日本言語文化学演習ⅣＡ～Ｄ	各２	日本語研究基礎実習ⅢＡ・Ｂ	各１
日本言語文化学特殊研究ⅤＡ・Ｂ	各２	日本語研究基礎実習ⅣＡ・Ｂ	各１
応用日本語学特殊研究ⅠＡ・Ｂ	各２	日本語研究基礎実習ⅤＡ・Ｂ	各１
応用日本語学演習ⅠＡ～Ｄ	各２	日本語論文作成実習ⅠＡ・Ｂ	各１
応用日本語学特殊研究ⅡＡ・Ｂ	各２	日本語論文作成実習ⅡＡ・Ｂ	各１
応用日本語学演習ⅡＡ～Ｄ	各２		
応用日本語学特殊研究ⅢＡ・Ｂ	各２		
応用日本語学演習ⅢＡ～Ｆ	各２		
応用日本語学特殊研究ⅣＡ・Ｂ	各２		
応用日本語学演習ⅣＡ～Ｄ	各２		
応用日本語学特殊研究ⅤＡ・Ｂ	各２		
応用日本語学演習ⅤＡ～Ｄ	各２		

中国言語文化学専攻（博士課程後期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		専攻科目	
中国言語文化学特別演習ⅠＡ～Ｆ	各２	中国言語文化学特論ⅠＡ・Ｂ	各２
中国言語文化学特別演習ⅡＡ～Ｆ	各２	中国言語文化学特論ⅡＡ・Ｂ	各２
中国言語文化学特別演習ⅢＡ～Ｆ	各２	中国言語文化学特論ⅢＡ・Ｂ	各２
中国言語文化学特別演習ⅣＡ～Ｆ	各２	中国言語文化学特論ⅣＡ・Ｂ	各２
中国言語文化学特別演習ⅤＡ～Ｆ	各２	中国言語文化学特論ⅤＡ・Ｂ	各２

英語学専攻（博士課程後期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		専攻科目	
英語学特別演習ⅠＡ～Ｆ	各２	英語教育学特論ⅠＡ・Ｂ	各２
英語学特別演習ⅡＡ～Ｆ	各２	英語教育学特論ⅡＡ・Ｂ	各２
英語学特別演習ⅢＡ～Ｆ	各２	英語教育学特論ⅢＡ・Ｂ	各２
英語学特論ⅠＡ・Ｂ	各２	言語文化学特別演習ⅠＡ～Ｆ	各２
英語学特論ⅡＡ・Ｂ	各２	言語文化学特別演習ⅡＡ～Ｆ	各２
英語学特論ⅢＡ・Ｂ	各２	言語文化学特論ⅠＡ・Ｂ	各２
英語教育学特別演習ⅠＡ～Ｆ	各２	言語文化学特論ⅡＡ・Ｂ	各２
英語教育学特別演習ⅡＡ～Ｆ	各２		

日本言語文化学専攻

（博士課程後期課程）

授業科目	単位数
専攻科目	
日本言語文化学特別演習ⅠＡ～Ｆ	各２
日本言語文化学特別演習ⅡＡ～Ｆ	各２
日本言語文化学特論ⅠＡ・Ｂ	各２
日本言語文化学特論ⅡＡ・Ｂ	各２
日本言語文化学特論ⅢＡ・Ｂ	各２
日本言語文化学特論ⅣＡ・Ｂ	各２
応用日本語学特別演習ⅠＡ～Ｆ	各２
応用日本語学特別演習ⅡＡ～Ｆ	各２
応用日本語学特別演習ⅢＡ～Ｆ	各２
応用日本語学特別演習ⅣＡ～Ｆ	各２
応用日本語学特論ⅠＡ・Ｂ	各２
応用日本語学特論ⅡＡ・Ｂ	各２
応用日本語学特論ⅢＡ・Ｂ	各２
応用日本語学特論ⅣＡ・Ｂ	各２
応用日本語学演習ⅤＡ・Ｂ	各２

アジア地域研究科

アジア地域研究専攻（博士課程前期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		関連科目	
アジア地域研究演習	８	地域研究実習１～４	各２
アジア地域研究１～１０	各２	地域調査方法論１～４	各２
		地域研究特殊講義１～６	各２
		キャリア特殊講義１～３	各２

経営学研究科

経営学専攻（博士課程前期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		専門講義科目	
経営学研究指導	８	企業論講義	４
マーケティング研究指導	８	経営史講義	４
知識・情報マネジメント研究指導	８	経営管理論講義	４
会計学研究指導	８	人的資源管理論講義	４
税法研究指導	８	生産管理論講義	４
		経営財務論講義	４
		国際経営論講義	４
		マーケティング講義	４
		国際マーケティング講義	４
		流通論講義	４
		経営診断論講義	４
		経営情報論講義	４
		情報ネットワーク論講義	４
		経営システム科学講義	４
		経営統計論講義	４
		財務会計論講義	４
		会計監査論講義	４
		管理会計論講義	４
		原価管理論講義	４
		経営分析論講義	４
		租税法講義	４
		基礎講義科目	
		経営学研究の基本技法	２

アジア地域研究専攻（博士課程後期課程）

授業科目	単位数
研究指導科目	
アジア地域研究論文作成指導	４
専門講義科目	
アジア地域研究Ⅰ・Ⅱ	各４

経営学専攻（博士課程後期課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		専門講義科目	
経営学研究指導	８	現代企業論研究	４
マーケティング研究指導	８	公益事業論研究	４
知識・情報マネジメント研究指導	８	経営史研究	４
会計学研究指導	８	経営戦略論研究	４
税法研究指導	８	経営組織論研究	４
		人的資源管理論研究	４
		経営財務論研究	４
		国際経営論研究	４
		マーケティング研究	４
		国際マーケティング研究	４
		流通論研究	４
		経営情報論研究	４
		組織情報論研究	４
		情報ネットワーク論研究	４
		情報セキュリティ論研究	４
		経営システム科学研究	４
		財務会計論研究	４
		会計監査論研究	４
		管理会計論研究	４
		租税法研究	４

スポーツ・健康科学研究科

スポーツ・健康科学専攻（修士課程）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
専攻科目		健康科学分野専攻科目	
スポーツ・健康科学研究法	２	細胞生物学特論	２
科学英語	２	細胞生物学演習	２
スポーツ科学分野専攻科目		健康スポーツ医学特論	２
スポーツ生理学特論	２	健康スポーツ医学演習	２
スポーツ生理学演習	２	分子生命科学特論	２
スポーツバイオメカニクス特論	２	分子生命科学演習	２
スポーツバイオメカニクス演習	２	予防医学特論	２
スポーツ心理学特論	２	予防医学演習	２
スポーツ心理学演習	２	分子病理学特論	２
スポーツ運動学特論	２	分子病理学演習	２
スポーツ運動学演習	２	栄養生理学特論	２
体力科学特論	２	栄養生理学演習	２
体力科学演習	２	ウィメンズヘルス学特論	２
スポーツ社会学特論	２	ウィメンズヘルス学演習	２
スポーツ社会学演習	２	食と健康科学特論	２
ストレンクス&コンディショニング特論	２	食と健康科学演習	２
ストレンクス&コンディショニング演習	２	チャイルドヘルス特論	２
スポーツ教育学特論	２	チャイルドヘルス演習	２
スポーツ教育学演習	２	エイジング&ヘルス学特論	２
スポーツ科学研究セミナーＡ・Ｂ	各１	エイジング&ヘルス学演習	２
		スポーツ科学分野研究指導科目	
		スポーツ科学特別研究Ａ・Ｂ	各４
		健康科学分野指導科目	
		健康医科学特別研究Ａ・Ｂ	各４

キャリアセンター

大東文化大学ではキャリアセンターを中心とした支援プログラムを用意しており、キャリア設計から就職活動まで、さまざまなサポートを行っています。



【Webサイト】夢をかなえるキャリア支援
お問い合わせ窓口・利用時間など
詳細はこちらでご確認いただけます。
<https://www.daito.ac.jp/career/information.html>

さまざまなキャリア支援



1 各種プログラムでの徹底支援

自己分析や業界・企業研究のやり方、インターンシップ（仕事体験等）など就職活動に必要なことを全て網羅する「就活必須講座」を始め、採用担当経験者による「面接練習会」、年間約250社以上が集まる企業説明会など「その時に必要なこと」を一つひとつ積み上げられるさまざまなイベント・プログラムを通して支援を行っています。

2 実践的で豊富なデータ

約18,000社の求人票に加え、先輩の就職活動体験記や参考書籍、公務員試験の参考書など、実践的な資料を自由に閲覧できます。また、過去3年以内に入社した本学卒業の先輩たちが一人も辞めていない企業のデータなど大学のキャリアセンターにしかない情報を活かし、学生の将来を考えた求人紹介を行っています。

3 国家資格を有するカウンセラーが個別支援

学生一人ひとりの希望をかなえるため、1対1でのきめ細やかな個別相談を行っています。就職活動中はもちろん、気軽な質問・相談、将来のことや自分の強み、適性について国家資格を持つカウンセラーがじっくり寄り添って一緒に考えます。面接練習や履歴書・エントリーシートの添削もできます（オンライン・対面どちらにも対応）。

※国家資格とはキャリアコンサルタントや公認心理師を指します。

4 専修免許状の取得が可能

本学大学院の研究科において取得できる中学校・高等学校教諭専修免許状の免許教科の種類は、下の表に掲げるとおりです。

課程を置く研究科・専攻		専修免許状の種類	
研究科	専攻	中学校教諭	高等学校教諭
文学研究科	日本文学専攻	国語	国語
	中国学専攻	国語	国語
	英文学専攻	英語	英語
	書道学専攻	—	書道
	教育学専攻	小学校教諭	
外国語学研究科	中国言語文化学専攻*	中国語	中国語
	英語学専攻*	英語	英語
	日本言語文化学専攻*	国語	国語
経営学研究科	経営学専攻	—	商業
スポーツ・健康科学研究科	スポーツ・健康科学専攻*	保健体育	保健体育

*現職教員1年修了コースを開講している専攻

5 現職教員1年修了コースの設置

全国の中・高等学校に現職の専任教員として勤務している方を対象に、1年間で修士の学位と専修免許状を取得できるコースです。通常の授業期間・授業時間および夜間や長期休暇中に開講される授業を履修し、研究指導を受けることができます。

6 公務員サポート

キャリアセンターでは公務員希望者のサポートもしています。公務員ガイダンス・公務員講座・面接練習会などの支援行事の実施、個別相談の対応を行っています。

自己実現に向けて、入学時から
キャリア設計がはじまります！

注目のプログラム

年間を通して就職ガイダンスをはじめ、さまざまなプログラムで学生のキャリア形成を支援しています。「そのときに必要なこと」を考えながら、卒業後の自己実現に向けてサポートします。

実践を重ね、未来につながる力を育てるプログラム

年間を通して就職ガイダンスをはじめ、さまざまなプログラムで学生のキャリア形成を支援しています。

「就職活動手帳」を配布

キャリアセンターの利用方法や就職活動の流れ、面接や就職試験のノウハウなどを記したオリジナルの『就職活動手帳』を大学院生に配布しています。（希望者）

インターンシップ支援

はじめてのインターンシップ合同説明会

“卒業生の卒業後3年離職ゼロ”など先輩が活躍している企業・団体などを約100社をお招きして、オンラインで夏のインターンシップ（仕事体験等）の情報を聞くことができるイベントです。大東生優先参加枠など、学内イベントならではの貴重な情報もあります。

キャリアセンター推薦型インターンシップ

夏休み期間に開催される大東生のためのインターンシップ（仕事体験等）。一般の就職情報サイトからは応募できない特別なプログラムです。

就活支援

就活必須講座

就職活動に必要なことを全6回の講座で網羅。自己分析や自己PRの書き方、面接対策、履歴書対策、さらに大東生が苦手な分野を集中対策する筆記試験（SPI）対策など、全員参加必須の講座です。

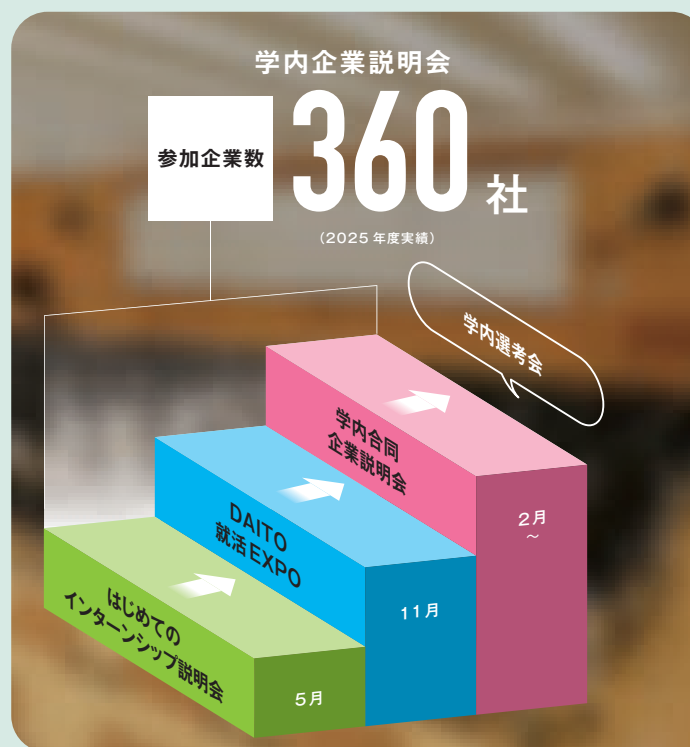
就活選択講座

不安なことや苦手な分野を自分で選んで参加できる選択講座です。状況に応じた進捗別ガイダンス等でサポートします。

未来へ踏み出す最終ステップ

各種説明会や選考に挑み、社会へ進む準備を仕上げます。

学内での企業説明会



■ DAITO 就活 EXPO

「卒業生の定着率が高い」「雇用条件が良い」などキャリアセンターが厳選した企業・団体約 100 社による WEB 学内説明会です。秋冬のインターンシップ（仕事体験等）情報や選考に関する情報など、採用の多様化・早期化に対応したマッチングをサポートします。

■ 学内合同企業説明会

採用担当者から直接話が聞ける形式で、単なる“就職”ではなく、“幸せに働き続けられるファーストキャリア”としての就職先との出会いを創出します。

■ 学内選考会

事前研修（自己分析や企業研究のレクチャー、面接のロールプレイなど）つきのプログラムです。短時間で多くの企業と面接ができ、内定まで専任アドバイザーがサポートしてくれるので、安心して就活を進めることができます。

※掲載内容は全て 2026 年度予定です。

学生サポート情報・学費一覧

奨学金・学費減免制度

奨学金制度

大学院生の学業と学生生活をバックアップするために各種奨学金制度を設けています。

■ 大東文化大学給付奨学金

学業成績等が特に優秀かつ人格に秀で、他の学生の模範となる学生に対し、大学が選考のうえ給付します（募集制ではありません）。詳細は学生支援センターまでお問い合わせください。

1年生	300,000 円 (28名以内)
2年生以上	200,000 円 (30名以内)

■ 留学にかかわる奨学金

本学が認めた大学・研究機関等に1年間の海外留学・フィールドワークを希望する大学院生を対象に、留学中の授業料等を免除し、奨学金を給付する制度があります。詳細は国際交流センターまでお問い合わせください。

▶協定留学・認定留学

応募人数	1～2名（研究科によって異なります）
留学期間	最長12カ月
単位認定	上限10単位
奨学金	上限1,200,000円

▶フィールドワーク

留学期間	1カ月以上6カ月以内
単位認定	研究科委員会承認後振替可能
奨学金	上限400,000円

各種研究助成制度

コピー代助成

個人研究用コピー代助成として、学内で使用できるコピーカードを配付します。
※ただし利用枚数上限があります。

院生研究室の整備

院生が交流し、また集中的に研究に励めるよう、専攻ごとに院生研究室を整備しています。



外国人留学生へのサポート体制

■ 私費外国人留学生授業料減免

私費外国人留学生に対し、経済的負担を軽減し、修学の継続を援助することを目的とした制度です（申請制・審査あり）。

対象者	在留資格「留学」を有する私費外国人留学生で、学業および人物とも優れ、かつ経済的理由により修学困難な学生と認められる者。
免除額	授業料20%相当額

※2026年度実績

学費減免制度

■ 入学金の免除

以下の場合に、入学金を免除します。

1. 本学の学部卒業者または大学院修了者が、本学大学院に進学するとき。
2. 本学大学院退学者が、本学大学院に再入学するとき。

※いずれも、卒業・修了、退学した年度後5年以内に限ります。

■ 授業料等の免除

1. 経済的な理由で就学が困難な学生（外国人留学生除く）に対し、授業料を減免します。

対象者	大学院生
免除額・採用人数	授業料（全額）：5名以内 授業料（半額）：10名以内

2. 博士課程後期課程に在学する者の経済的支援として、以下の通り授業料等を免除します。

対象者	本学大学院後期課程に3年以上在学した者で、 （i）所定の単位を修得した者が学位論文の研究指導を受けるため引き続き在学する場合。 （ii）所定の単位を修得し学位を取得せずに退学した者が博士論文審査及び試験のために再入学を許可された場合。
免除額	授業料（半額） 教育充実費・研究費・実習費（全額）

学術研究活動助成

本学大学院生の学術研究活動を活性化させることを目的とし、大学院生が行う研究活動に関わる経費を一部助成する制度を設けています。

- （1）未発表論文を母語以外の言語で発表する際の翻訳・校正に関わる経費
- （2）未発表論文の投稿に際する投稿料
- （3）研究成果を学会で発表するときの学会参加に関わる諸経費（国内外問わず）

※助成金額は1人あたり30,000円（年1回）を上限とします。

※助成の対象者は、（1）（2）は筆頭筆者、（3）は研究成果の発表者とします。

※申請には諸条件があります。

■ 日本語講座（実習科目）の設置

日本語で学位論文を執筆するために必要なスキルを身に付けることができる実習科目を、全研究科の留学生に開放しています。

学べる内容	論文で用いる日本語の表現・語彙、論文の構成、分析方法、引用・参考文献の書き方など。
実習科目名	日本語論文作成実習、日本語語文化学実習、日本語研究基礎実習など。

TA制度

TA（Teaching Assistant）制度とは、教育研究者を志す院生や優秀な院生が、教育的配慮のもと、学部生等に対しチュータリング（助言）や実験、演習等の教育補助業務に従事することで、教員歴としての業績を積むための制度です。TA制度の教育補助業務に対して支給される手当により、学生生活に資する経済的支援を得ることもできます。

研究生・科目等履修生・委託研修生制度

大東文化大学大学院では、多様な学生を受け入れるため、以下の各種制度を設けています。

研究生制度

研究生制度とは、正規学生の修学に支障のない範囲において、特定の研究課題について研究指導を受けようとする者を受け入れる制度です。研究生の在学期間は1年間とし、入学時期は学年の始めとします。

科目等履修生制度

科目等履修生制度とは、正規学生の修学に支障のない範囲において、1または複数の授業科目を履修し単位の認定を受ける制度です。科目等履修生の在学期間は1年間とし、入学時期は学年の始めとします。ただし、学年の前学期または後学期に開講する授業科目のみを履修するときは、前学期または後学期の始めに入学することができます。

委託研修生制度

委託研修生制度とは、正規学生の修学に支障のない範囲において、官公庁・外国政府・学校・研究機関・民間団体等の委託に基づき、大東文化大学大学院において授業科目を履修しようとする者、または特定の研究課題について研究指導を受けようとする者を受け入れる制度です。

学費一覧

※単位円											
研究科	専攻	課程	初年度合計額	分納1（初回）	A. 入学金	B. 授業料	C. 教育充実費	D. 実習費	E. 研究費	F. 安全互助会費	G. 学生会費
文学研究科	日本文学専攻	前期	965,100	595,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	4,000
		後期	967,100	597,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	6,000
	中国学専攻	前期	965,100	595,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	4,000
		後期	967,100	597,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	6,000
	英文学専攻	修士	967,100	597,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	6,000
		前期	1,015,100	620,450	220,000	530,000	179,300	50,000	30,000	1,800	4,000
	書道学専攻	後期	1,017,100	622,450	220,000	530,000	179,300	50,000	30,000	1,800	6,000
		修士	968,100	598,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	7,000
経済学研究科	経済学専攻	前期	961,100	591,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	-
		後期	961,100	591,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	-
法学研究科	法律学専攻	前期	964,100	594,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	3,000
		後期	965,600	595,950	220,000	530,000	179,300	--	30,000	1,800	4,500
	政治学専攻	前期	964,100	594,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	3,000
		後期	965,600	595,950	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	4,500
外国語学研究科	中国言語文化学専攻	前期	965,100	595,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	4,000
		後期	967,100	597,450	220,000	530,000	179,300	--	30,000	1,800	6,000
	英語学専攻	前期	965,100	595,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	4,000
		後期	967,100	597,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	6,000
	日本言語文化学専攻	前期	965,100	595,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	4,000
		後期	967,100	597,450	220,000	530,000	179,300	--	30,000	1,800	6,000
アジア地域研究科	アジア地域研究専攻	前期	965,100	595,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	4,000
		後期	967,100	597,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	6,000
経営学研究科	経営学専攻	前期	963,100	593,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	2,000
		後期	964,100	594,450	220,000	530,000	179,300	-	30,000	1,800	3,000
スポーツ・健康科学研究科	スポーツ・健康科学専攻	修士	1,061,100	641,450	220,000	600,000	179,300	30,000	30,000	1,800	-

●上表は2027年度入学者の学費です。学費は年度により改定する場合がありますので、ご了承ください。

●学費・諸経費合計額には入学金を含みます。

●学費、諸経費の納入方法には、一括納入と分割納入の2種類の方法があります。

●分割納入の場合は、第1回目がB～Eの合計額の半額にA・F・Gを加えた額になり、第2回目はB～Eの合計額の半額となります。なお、2年次以降は、入学金・学生会費以外を納入していただきます。

入学試験情報・入学試験データ

募集人員

研究科	専攻	課程	募集人員
文学研究科	日本文学専攻	前期課程	3名
		後期課程	3名
	中国学専攻	前期課程	3名
		後期課程	2名
	英文学専攻	修士課程	5名
	書道学専攻	前期課程	7名
		後期課程	3名
経済学研究科	経済学専攻	前期課程	5名
		後期課程	3名
法学研究科	法学学専攻	前期課程	5名
		後期課程	2名
	政治学専攻	前期課程	4名
		後期課程	2名

研究科	専攻	課程	募集人員
外国語学研究科	中国言語文化学専攻	前期課程	5名
		後期課程	3名
	英語学専攻	前期課程	5名
		後期課程	3名
	日本言語文化学専攻	前期課程	5名
アジア地域研究科	アジア地域研究専攻	前期課程	7名
		後期課程	2名
経営学研究科	経営学専攻	前期課程	10名
		後期課程	3名
スポーツ・健康科学研究科	スポーツ・健康科学専攻	修士課程	10名

2027年度 入学試験日程

	秋季入学試験	春季入学試験	3月入学試験 研究生等入学試験 (科目等履修生・委託研修生含む)
出願資格審査 申請期間	2026年9月 3日(木)～ 9月 7日(月) 〔必着〕	2027年1月 8日(金)～ 1月12日(火) 〔必着〕	2027年2月 5日(金)～ 2月 9日(火) 〔必着〕
出願資格審査 結果通知発送日	2026年9月16日(水)	2027年1月20日(水)	2027年2月17日(水)
出願期間	2026年9月17日(木)～ 9月25日(金) 〔必着〕	2027年1月21日(木)～ 1月27日(水) 〔必着〕	2027年2月18日(木)～ 2月25日(木) 〔必着〕
試験日	2026年10月10日(土)	2027年2月13日(土)	2027年3月4日(木)
合格発表日	2026年10月23日(金) 〔オンライン発表のみ〕	2027年2月20日(土) 〔オンライン発表のみ〕	2027年3月12日(金) 〔オンライン発表のみ〕
手続期間	2026年10月23日(金)～ 11月 4日(水)	2027年2月20日(土)～ 3月 3日(水)	2027年3月12日(金)～ 3月18日(木)

過去問題の閲覧方法

東京板橋キャンパス 入学センターで過去問題の閲覧が可能です。閲覧可能な過去問題は2年以内で、かつ受験者がいた入試方式・科目に限ります。また、一部研究科が開示可能と判断した部分については、本学Web上にも掲載しています。



【Webサイト】過去問題

https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/admission/kakomon.html

入試結果

志願者数および合格者数(前期／修士課程)

2026年度 入試結果

研究科	専攻	募集人員	志願者数	合格者数
文学研究科	日本文学専攻	3名	6名	4名
	中国学専攻	3名	3名	1名
	英文学専攻	5名	2名	2名
	書道学専攻	7名	17名	9名
	教育学専攻	5名	23名	7名
経済学研究科	経済学専攻	5名	9名	4名
法学研究科	法学学専攻	5名	6名	1名
	政治学専攻	4名	3名	0名
外国語学研究科	中国言語文化学専攻	5名	5名	4名
	英語学専攻	5名	2名	1名
	日本言語文化学専攻	5名	16名	6名
アジア地域研究科	アジア地域研究専攻	7名	14名	5名
経営学研究科	経営学専攻	10名	31名	6名
スポーツ・健康科学研究科	スポーツ・健康科学専攻	10名	17名	11名
合計		79名	154名	61名

2025年度 入試結果

研究科	専攻	募集人員	志願者数	合格者数
文学研究科	日本文学専攻	3名	2名	1名
	中国学専攻	3名	7名	4名
	英文学専攻	5名	2名	2名
	書道学専攻	7名	14名	7名
	教育学専攻	5名	12名	5名
経済学研究科	経済学専攻	5名	10名	4名
法学研究科	法学学専攻	5名	1名	0名
	政治学専攻	4名	0名	0名
外国語学研究科	中国言語文化学専攻	5名	1名	1名
	英語学専攻	5名	0名	0名
	日本言語文化学専攻	5名	17名	9名
アジア地域研究科	アジア地域研究専攻	7名	9名	6名
経営学研究科	経営学専攻	10名	28名	8名
スポーツ・健康科学研究科	スポーツ・健康科学専攻	10名	16名	13名
合計		79名	119名	60名

志願者数および合格者数(後期課程)

2026年度 入試結果

研究科	専攻	募集人員	志願者数	合格者数
文学研究科	日本文学専攻	3名	0名	0名
	中国学専攻	2名	1名	0名
	書道学専攻	3名	1名	0名
経済学研究科	経済学専攻	3名	0名	0名
法学研究科	法学学専攻	2名	0名	0名
	政治学専攻	2名	0名	0名
外国語学研究科	中国言語文化学専攻	3名	1名	1名
	英語学専攻	3名	2名	2名
	日本言語文化学専攻	2名	3名	1名
アジア地域研究科	アジア地域研究専攻	2名	2名	1名
経営学研究科	経営学専攻	3名	3名	1名
合計		28名	13名	6名

2025年度 入試結果

研究科	専攻	募集人員	志願者数	合格者数
文学研究科	日本文学専攻	3名	1名	0名
	中国学専攻	2名	1名	0名
	書道学専攻	3名	6名	3名
経済学研究科	経済学専攻	3名	0名	0名
法学研究科	法学学専攻	2名	0名	0名
	政治学専攻	2名	0名	0名
外国語学研究科	中国言語文化学専攻	3名	2名	2名
	英語学専攻	3名	0名	0名
	日本言語文化学専攻	2名	0名	0名
アジア地域研究科	アジア地域研究専攻	2名	1名	1名
経営学研究科	経営学専攻	3名	1名	1名
合計		28名	12名	7名

進学相談会情報

本学大学院への進学を検討されている方を対象に、説明会・相談会を実施する予定です。開催場所、内容詳細については決まり次第本学大学院HPにてご案内します（講演会や各専攻の個別相談会を予定）。



【Webサイト】説明会・進学相談会

https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/admission/conference.html



大学院について

Q. 東京板橋キャンパスと埼玉東松山キャンパスがありますが、授業はどちらで行われますか？

A. 研究科によって異なります。文学研究科、経済学研究科、法学研究科、外国語学研究科、経営学研究科は東京板橋キャンパス、アジア地域研究科とスポーツ・健康科学研究科は埼玉東松山キャンパスにて授業を実施します。

Q. 大学院に進学すると、学費等の経済的負担がかかるため、修了できるか不安です。

A. 本学では「大東文化大学奨学金」という給付型奨学金を設けており、優秀な院生の経済的支援を行っています。その他にも、本学出身者の入学金免除制度、外国人留学生の学費減免制度、また、留学やフィールドワークを支援する奨学金制度など、経済的負担を軽減する制度が充実しています。詳細は47ページをご覧ください。

Q. 「大東文化大学奨学金」に申請したいです。どうすればいいですか？

A. 「大東文化大学奨学金」は申請制ではありません。入学後、本学で対象者を決定いたします。詳細は学生支援センターへお問合せください。

Q. 大東文化大学が開講する授業を履修して、税理士試験の科目免除申請はできますか？

A. 法学研究科や経営学研究科で「税法」または「会計学」に関する学位論文を書くことができれば、申請が可能です。詳細は各研究科担当の学部事務室へお問合せください。

Q. 留学生や社会人の研究指導は充実していますか。

A. 学位取得に向けた研究指導体制が整っています。
留学生への指導サポートとしては、専門の論文指導以外に日本語講座を開講しています（47ページ参照）。
社会人に対しては、幅広く夜間・土曜日に授業を開講しており、大学バスも夜まで運行しているので、安心して研究指導が受けられます。

出願について

Q. 入試要項・出願書類の入手方法について教えてください。

A. 例年7月頃に大学院Webサイトにて大学院入学試験要項や出願書類を掲載します。各自ダウンロードのうえ必要な書類をプリントアウトしてからご出願ください。



【Webサイト】大学院入試要項

https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/admission/points.html

Q. 希望する指導教員に事前に連絡を取る必要はありますか？

A. 必ずしも連絡を取る必要はありません（一部研究科を除く）。例年12月頃に教員と個別相談が可能な進学相談会を実施しますので、ぜひご参加ください。これとは別に事前に指導が可能かどうかなど個別に相談したい場合は、【①履歴書】【②研究計画書】【③志望する指導教員名】等の情報を下記メールアドレスにお送りください。

※法学研究科を希望する方につきましては事前面談を推奨しております。

■ 入学センター事務室

E-mail: grad@jm.daito.ac.jp

Q. 提出を要する出願書類以外で、提出したい資料があります。同封してよいですか？

A. 指定する出願書類以外の資料は同封しないでください。同封されていた場合であっても出願書類としては受理しません。

出願資格について

Q. 中国の3年制大学（専科）を卒業しました。大学院への出願資格はありますか？

A. 3年制大学を卒業しただけでは出願資格はありません。大学院に出願するには、本学が実施する「出願資格審査」に申請をし、それに通過する必要があります。詳細は『大学院入学試験要項』をご覧ください。

Q. 学位を持っていない場合でも大学院への出願はできますか？

A. 原則学位を有していない方は大学院への出願はできません。学位を有していないが大学院への進学を希望する場合は、本学が実施する「出願資格審査」に申請をし、それに通過する必要があります。詳細は『大学院入学試験要項』をご覧ください。

Q. 外国人留学生の場合、日本語能力の基準（ボーダー）は設けていますか？

A. 日本語能力のボーダーは特に設けていませんが、日本語能力に関する証明書の提出が必須となっています。

入学試験について

Q. 入学試験はどちらのキャンパスで行われますか？

A. 入学試験は全ての研究科が東京板橋キャンパスで行います。

Q. 過去問題は閲覧できますか？

A. 東京板橋キャンパス 入学センターで過去問題の閲覧が可能です。閲覧可能な過去問題は2年以内で、かつ受験者がいた入試方式・科目に限ります。また、一部研究科が開示可能と判断した部分については、本学Web上にも掲載しています。



【Webサイト】過去問題

https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/admission/kakomon.html

Q. 推薦制度はありますか？

A. 各専攻で異なります。詳細は「推薦入試要項」をご確認ください。



【Webサイト】大学院入試要項

https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/admission/points.html



大東文化大学大学院

大東文化大学 入学センター 大学院係

〒175-8571 東京都板橋区高島平 1-9-1

TEL: 03-5399-7800 E-mail: grad@jm.daito.ac.jp

URL: https://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/



大東文化大学は、2023年度に公益財団法人大学基準協会の認証評価を受け、審査の結果、同協会の定める大学基準に「適合」としているとの認定を受けました。認定期間は、2024年4月1日から2031年3月末日までとなります。